

# オーストラリアの暮らし

© Commonwealth of Australia 2007

本書は著作権で保護されています。

1968年著作権法の下で許されている利用以外は、連邦政府の書面での事前許可がない限り、いかなるプロセスによるいずれの部分の複製も禁じられています。

複製や権利についてのご依頼やお問い合わせは下記宛先にご連絡ください：

Commonwealth Copyright Administration  
Attorney General's Department  
Robert Garran Offices  
National Circuit  
Barton ACT 2600

または

[www.ag.gov.au/cc](http://www.ag.gov.au/cc)

ISBN 978 1 921446 45 0

2007年10月出版

本書の英語版及びその他の多数の言語版はオンラインで入手することができます。  
これらのコピーをお求めの方は[www.immi.gov.au](http://www.immi.gov.au)で注文することもできます。



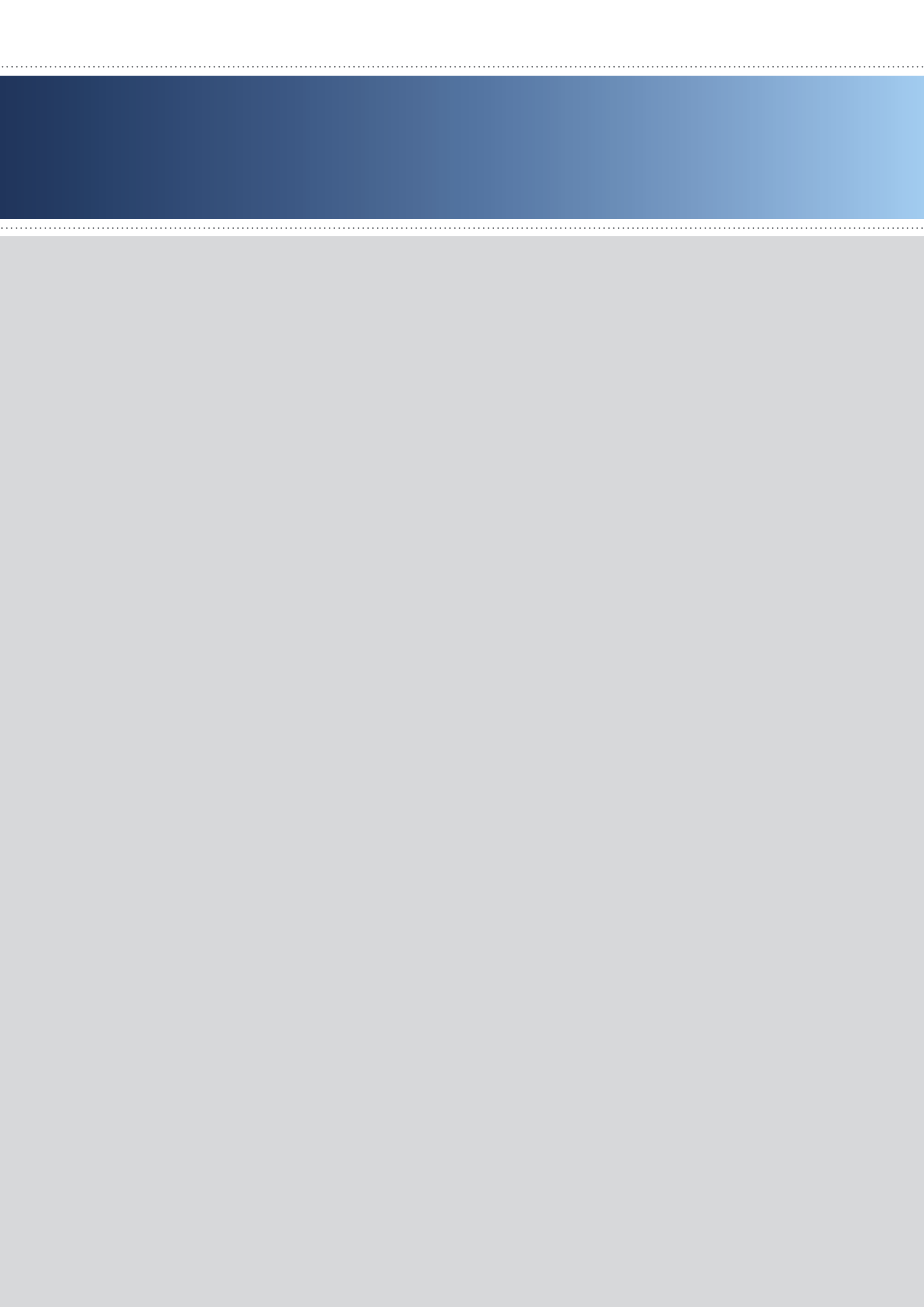
この通訳シンボルはビクトリア州多文化局が連邦及び州・特別地域政府と協力して作ったもので、公共情報についての全国共通のシンボルです。これは限られた英語力をもつ方々が政府のサービスを利用する際に言語面での補助を求められる場所を示します。

皆さんは政府や地域社会の情報やサービスを提供する場所、例えば公立病院、警察署、公立学校、コミュニティセンター、住宅や雇用関連のオフィス、地方自治体、マイグ란トリゾースセンター(移民資料センター)などでこのシンボルを目にされることがあるでしょう。

通訳シンボルは2006年5月にビクトリア州で公式に導入されました。

# 目次

はじめに	1
オーストラリア価値表明書	2
暫定・永住ビザ申請者用のオーストラリア価値表明書	2
一時滞在ビザ申請者用のオーストラリア価値表明書	3
オーストラリアの価値と原則	4
オーストラリア – 概略	8
数字で見るオーストラリア	10
国家の象徴	11
国と国民	14
天候	14
環境	15
最初のオーストラリア人	15
最初のヨーロッパ人入植者	16
国家の誕生	18
戦争の影響	19
繁栄と変化	20
オーストラリアを故郷と呼ぶ人々	21
民主主義と政治	22
今日のオーストラリア社会	26
法と社会慣習	26
変化する家族の役割	30
オーストラリア英語	32
祝日と休暇	33
スポーツ、レクリエーション、芸術	35
科学における功績者と革新者	36
オーストラリアの生活	37
雇用と労働条件	37
住宅	38
病院費用や医療費	39
英語クラス	40
通訳・翻訳サービス	41
教育	41
運転免許証	42
重要な連絡先	42
オーストラリア市民権の取得	43
市民権の権利と恩恵	43
責任	43



# はじめに



本書は永住者として、または一時滞在者としてオーストラリアで暮らすためのビザを申請される方々を対象にしたもので、オーストラリアの概略、歴史、暮らし方と、私たちが共有する価値がまとめられています。

ビザの申請プロセスの一環として、多くの申請者はオーストラリアの価値を尊重し、オーストラリアの法に従うと表明しなければなりません。

オーストラリアの価値には個人の価値の平等及び個人の尊厳と自由の尊重、言論の自由、宗教の自由、政教分離、結社の自由、議会民主主義の支持、法の支配、法の下での平等、男女平等、機会の平等、平和的であることなどがあります。また、公平な態度や相互尊重、寛容、困った人への思いやりや公益の追求を重視する平等主義の精神も含まれます。

英語がこの国の国語であり、オーストラリア社会を結束させる重要な一要因となっていることを理解することも重要です。

本書はオーストラリアにしばらく住んでいる方にも役立つかもしれません。特に仕事上移民と接する方や、最近オーストラリアに到着したばかりの親戚や友人がいる方には有益でしょう。

オーストラリア政府は新しい居住者の方々に、オーストラリアとその歴史、言語、慣習、価値、暮らし方についてできるだけ多く知ってもらい、申請資格が整った時にはオーストラリア市民権の取得申請を行い、できるだけ早くオーストラリア社会の重要な一員となってもらいたいと考えています。

この国に新しく到着された方々には、オーストラリアへようこそと申し上げます。皆さんがこれから生活される国は安定していて、繁栄している民主主義国です。

また皆さんが加わる社会は文化的に多様でありながら結束力があり、多くの国や民族の出身者で構成されているながら、共有する価値と責任で結び付けられた社会です。

## より詳しいことをお知りになりたい方は

特定のトピックについてより詳しい情報をお知りになりたい方は、関連するウェブサイトや本書に記載されているその他の情報源でお調べください。

オーストラリアでの生活と仕事についてのガイダンスをお求めの方は移民・市民権省(DIAC: Department of Immigration and Citizenship)のウェブサイト([www.immi.gov.au](http://www.immi.gov.au))にあるLiving in Australiaのセクションをご覧ください。

オーストラリアでの暮らしに慣れるためのより詳しい情報をお求めの方は、*Beginning a Life in Australia*という一連の小冊子をご覧ください。DIACのウェブサイトから入手できるこれら小冊子には英語版とその他の多数の言語版があり、オーストラリアの各州・特別地域に関するものが1冊ずつあります。有益な地元の情報や連絡先を調べたい場合には、お住まいになる州や特別地域を扱った小冊子をご覧ください。

人道プログラムに基づいて居住が承認された方は、オーストラリアへ発つ前にオーストラリア文化オリエンテーションプログラム(AUSCO: Australian Cultural Orientation Programme)に参加されることをお勧めします。オーストラリアへの旅とオーストラリアへの移住についての情報を提供するこのプログラムは、アジア、アフリカ、中東の各地で開催されています。

本書の追加コピーは依頼に応じて移民・市民権省から、または同省のウェブサイトから入手可能です。

# オーストラリア価値表明書 (Australian Values Statement)

## 暫定・永住ビザ申請者用のオーストラリア価値表明書

暫定ビザ、永住ビザ、少数の一時滞在ビザの申請者は、オーストラリア政府がオーストラリアの暮らしについて出している本書に載っている情報を読むか、またはその説明を受けることが義務づけられています。これら申請者は後日、オーストラリア市民権を申請した場合には、どのようなことが義務づけられるのかについても理解することが求められています。この表明書は該当するビザ申請用紙に含まれており、18歳以上の申請者は全員、同書に署名する必要があります。

## オーストラリア価値表明書

18歳以上の方はこの表明書に署名しなければなりません。

私はオーストラリアの社会と価値についてオーストラリア政府が提供した情報を読んだことを、あるいはその説明を受けたことを認めます。

私は次のことを理解しています：

- オーストラリア社会は個人の自由と尊厳の尊重、宗教の自由、法の支配の約束、議会制民主主義、男女平等と、相互尊重、寛容、公平な態度、困った人への思いやり、公益の追求を大切にす平等主義の精神を重視します。
- オーストラリア社会は個人の人種、宗教、出身民族にかかわらず、個人の機会の平等を重視します。
- 英語は国語として、オーストラリア社会を結束させる重要な要素となっています。

私はオーストラリア滞在中に、こういったオーストラリア社会の価値を尊重し、オーストラリアの法に従うことを約束します。

もし私がオーストラリア市民権の取得を求める場合には、次のことを理解します：

- オーストラリア市民権とは共有のアイデンティティであり、多様性を尊重しながら全オーストラリア人を結びつける、共通のきずなです。
- オーストラリア市民権には権利とそれに付随する責任を伴います。オーストラリア国民の責任にはオーストラリアの法に従うことが含まれ、これには選挙で投票することや陪審員を務めることも含まれます。
- もし私がオーストラリア市民権取得の法的資格を満たし、私の申請が承認された場合には、私はオーストラリアとその国民への忠誠を誓わなければならないことを理解しています。

インターネットによる申請については、ビザ申請者本人がこの価値表明書にyesかnoを示すボタンを選ぶよう求められます。申請に18歳以上の扶養家族が含まれる場合には、同表明書に次の段落が加わりません：

本申請に含まれる、18歳以上のその他の者は全員、オーストラリア政府がオーストラリアの社会と価値について提供した情報を読み、もしくはその説明を受け、上記表明書に同意すると私に伝えました。

この場合には、申請者は自分自身と自分の扶養家族に代わってこの表明を行っていることとなります。



## 一時滞在ビザ申請者用のオーストラリア価値表明書

該当する一時滞在ビザ申請者もオーストラリア価値表明書に署名しなければなりません。これは申請書の宣誓セクションに含まれているため、申請用紙に署名することは価値表明書にも署名したことになります。これら申請者には本書を読むことは義務づけられていませんが、希望される場合にはご一読ください。

次のオーストラリア価値表明書はほとんどの一時滞在ビザ申請用紙に含まれています：

私はオーストラリア滞在中、この用紙に記載されているオーストラリアの価値を尊重し、オーストラリアの法に従います。

インターネットによる申請の場合には、同表明書は次のようにわずかに異なります：

私はオーストラリア滞在中、本申請のはじめに記載されているオーストラリアの価値を尊重し、オーストラリアの法に従います。

インターネットによる申請で18歳以上の扶養家族がいる場合には、同表明書に次の段落が追加されます：

この他本申請に含まれる18歳以上の者は全員、この要件に合意すると私に伝えました。

申請者は自分自身と扶養家族(該当する場合)に代わって価値表明書の宣誓にyesかnoを示すボタンを選ぶように求められます。

# オーストラリアの価値と原則

安定して平和的で、繁栄した社会を維持するためには、オーストラリア社会を支える共通の原則と価値をあらゆる民族・文化背景をもつオーストラリア人が支持することが求められます。

こういった価値はオーストラリアの自由で民主的な社会の基盤を提供するもので、これには次のものがあります：

- 個人の価値の平等の尊重、個人の尊厳と自由の尊重
- 言論の自由
- 宗教の自由と政教分離
- 結社の自由
- 議会制民主主義と法の支配の支持
- 法の下での平等
- 男女平等
- 機会の平等
- 平和的であること
- 寛容、相互尊重、困った人への思いやりを大切にする平等主義の精神

こういった価値や原則は多くの他国とある程度共通するものですが、世界中から何百万人もの人々がオーストラリアに移住する中で、これらはオーストラリアのユニークな背景に適応し、形成され、現代化されてきました。人によって表現の仕方は違うかもしれませんが、これらの価値や原則の意味は同じです。

オーストラリアに最初に住んだのはアボリジニの人々とトレス海峡諸島民で、彼らのユニークな文化と伝統は世界でもっとも古い伝統文化の一つです。最初の移民はほとんどがイギリスとアイルランド出身で、このアングロ・ケルト族の伝統がオーストラリアの歴史、文化、政治的伝統に大きな継続的影響を及ぼしました。その後の移民の波ではアフリカ、アジア、アメリカ、ヨーロッパからの人々が到着しましたが、これら移民はすべてオーストラリアとその暮らし方にそれぞれ独特な貢献をしました。

共通の価値や原則をこのように表明することは、皆に同じ信念をもたせて皆を同じにしようとするものではありません。実際には、自由に思考する個人の尊重と、「他人と異なる」権利はオーストラリアの民主主義を支える基盤となっています。

この目的は、安定していながらダイナミックで、結合力があがりながら多様性に富んだ社会を作り出す上で一助となった基本的価値を新しい居住者に理解してもらえるようにすることです。

オーストラリアでは人々は多くの自由をもっていますが、こういった自由を行使するにあたっては、規律のある、自由で安全な社会を維持するために民主的に選挙で選ばれた政府が制定してきたオーストラリアの法に従うことが皆に義務づけられています。



## ● 基本的自由

すべてのオーストラリア人はいくつもの基本的自由が認められており(法の許す範囲で)、これらの自由には、自由且つオープンな発言、組織への加入、ミーティングの開催、自分の選んだ宗教の信仰、オーストラリア国内の無制限の移動などがあります。

## ● 個人の価値の平等の尊重、個人の尊厳と自由の尊重

すべてのオーストラリア人は自由且つ平等であり、お互いを尊厳と尊重をもって扱うことが求められています。

連邦法は1975年人種差別禁止法 (*Racial Discrimination Act 1975*)、1984年性別差別禁止法(*Sex Discrimination Act 1984*)、1992年障害差別禁止法 (*Disability Discrimination Act 1992*)、2004年年齢差別禁止法(*Age Discrimination Act 2004*)に基づき、広範な社会生活の領域において人種、性別、障害、年齢を理由とする差別を禁じています。こういった法に基づいた苦情に責任をもつ組織として人権・機会平等委員会(Human Rights and Equal Opportunity Commission)もあります。

オーストラリア人は社会における争いの解決法として暴力、脅迫、屈辱を使うことを拒否します。

### オンライン情報

人権・機会平等委員会 [www.hreoc.gov.au](http://www.hreoc.gov.au)

## ● 言論の自由

すべてのオーストラリア人は人を危険にさらしたり、偽りの主張をしたり、他人の言論の自由を妨害しない限り、オーストラリアの政府について、またいかなる話題や社会問題についても自分の思うところを法の許す範囲で自由に言ったり、書いたりすることができます。

これはオーストラリアの新聞、ラジオやテレビ、その他のメディアにもあてはまります。オーストラリア人は政府の行為に自由に抗議することができ、法を変更するためのキャンペーンを行うことも自由です。

言論の自由は人々が自分自身を表現したり、考えを話し合ったりできるようにするものです。虚偽の情報やうそについては、それから個人の名誉を守る法律があり、他人の文化や出身民族を理由に他人に対する憎しみを煽動することを禁じる法もあります。

## ● 宗教の自由と政教分離

すべてのオーストラリア人は、信仰の実践がオーストラリアの法に反しない限り、自分の選んだ宗教を自由に信仰することができます。オーストラリア人には宗教を信仰しない自由もあります。オーストラリアの社会では宗教の不寛容は認められません。

オーストラリアの政治は宗教と分離しており、オーストラリアには公式宗教も国家宗教もありません。政府は宗教とは無関係にすべての国民を平等に扱います。

各種宗教の法はオーストラリアでは法として認められず、例えば離婚に関連する事項には国会が制定した法律だけが適用されます。一部の宗教上・文化上の慣習、例えば重婚(同時に複数の人と結婚していること)はオーストラリアでは法律違反です。

## ● 結社の自由

法の許す範囲内において、オーストラリア人は自由に集会を開くことができ、政府やその他の組織に抗議することも自由ですが、抗議は平和的に行われなければならない、抗議中に人や物に損害や傷害を与えることは許されません。結社の自由には、組織が非合法でないことを条件に、組織やグループに加わる自由、加わらない自由も含まれます。このような組織には政党、組合、社会団体などが含まれます。

## ● 議会制民主主義と法の支配の支持

オーストラリアは議会制民主主義を有し、これはこの国がどのように統治され、オーストラリア社会がどのように代表されるかについての決定プロセスにオーストラリア国民が参加することを意味します。政府はすべてのオーストラリア人に対して説明責任を負います。選挙によって選ばれた議員で構成される議会は、私たちの法を制定したり、法を制定する権限を委譲したりすることができる唯一の機関です。

オーストラリアでは誰もが政府の制定した法に従わなければなりません。同様に、すべてのオーストラリア人は法の支配による保護を受けます。これは政治家や警察など権力を有する立場にある人であっても、法の上に立つ者はないという意味です。

## ● 法の下での平等

すべてのオーストラリア人は法の下で平等です。これは誰でも人種、出身民族や出身国、年齢、性別、婚姻関係、障害、政治や宗教上の信念を理由に他人と異なる扱いを受けるべきではないという意味です。政府官庁や独立した裁判所は誰でも公平に扱わなければなりません。

同等に扱われるということの意味は、就職や昇進が各自の技能、能力、経験に基づいて行われるということであり、文化的背景や政治的信念に基づいては行われなければならないということです。またこれは人種、肌の色、宗教、性別、婚姻関係を理由に店やホテルその他のサービス施設でサービスを断られることはないという意味でもあります。



## • 男女平等

オーストラリアでは男女は平等な権利を有します。仕事や職業は男女両方に平等に開けており、兵役にも男女両方が就くことができます。政府の職にも男女ともに就くことができます。

## • 機会の平等と平等主義の精神

オーストラリア人は機会の平等と、よく「fair go」と言われる公平の精神を重視します。これは誰かが人生で達成する事柄はその人自身の才能や仕事、努力の結果であるべきで、出生の偶然やえこひいきによるべきものではないという意味です。

オーストラリア人には、相互尊重、寛容、公平な態度を大切にする平等主義の精神があります。これは誰もが同じであるとか、皆が等しい富や財産をもつという意味ではありません。これが目的とするものは、オーストラリア社会に公式な階級の区別がないようにすることです。

## • 平和的であること

オーストラリア人は自分たちの平和的社会を誇りにし、変化は、話し合いや平和的な説得、民主的プロセスによって生じるべきだと信じています。人の心や法を変える手段として暴力を使うことをオーストラリア人は拒否します。

これらの価値に加え、オーストラリア人は公共の利益や困った人への思いやりも重視します。

オーストラリアには強い市民社会の精神があり、オーストラリア人は自分たちが住む社会の向上と改善を求めます。

多くのオーストラリア人は日々の生活の中で社会に貢献しています。環境を大切にするだけでこれを示す人もいれば、公共の利益のために必要な時に人助けをしたり、一緒に協力したりすることで社会に貢献する人もいます。

オーストラリアには「mateship」という強い仲間意識の伝統がありますが、これは人々が特に困っている人を自発的に助けることを意味します。仲間(mate)とは友人であることが多いですが、配偶者やパートナー、兄弟姉妹、息子や娘、友人であることもありますし、まったく知らない人である場合もあります。この国には社会奉仕やボランティア活動を行う強い伝統もあります。

上記に概略をまとめた価値は長年にわたってオーストラリア人が促進し、話し合ってきたものです。こういった価値は出身民族が多様で文化的伝統も異なる何百万人もの人々をオーストラリアが歓迎し、社会にうまくとけこませる上で役立ってきました。

オーストラリアの文化的多様性はダイナミックな社会を作り出す長所の一つです。法という枠組みの中で、オーストラリア人は誰でも自分の文化や信念を表現する権利を有します。

ただし同時に、すべてのオーストラリア人はオーストラリアを、つまりオーストラリアの法、価値、国民を最優先させると約束することが求められます。

# オーストラリア – 概略

## 地理

オーストラリアは世界最古の大陸の一つで、人の住んでいる島の中では地球最大の島であり、面積では世界第6位の国です。またもっとも乾燥した土地の一つで、農業に適しているとされるのは国土の6パーセントに過ぎません。

距離が膨大なため、この国を訪れた人の多くはこの国の面積と、都市間の移動に長時間かかることに驚きます。オーストラリアの国土は東西4000キロメートル、南北3700キロメートルに及び、シドニーからパースまでは飛行機で約5時間かかります。

総面積ではアメリカ合衆国(アラスカを除く)とほぼ同じ大きさで、インドの2倍以上、イギリスの32倍に相当します。

## オーストラリアの人々

オーストラリアに最初に住んだのはアボリジニの人々とトレス海峡諸島民で、彼らは少なくとも4万年前にこの地に来たと考えられており、その到着は6万年も前だった可能性もあります。

残りの人々は、1788年にヨーロッパ人の入植が始まってからオーストラリアにやってきた移民やその子孫で、その出身国数はほぼ200カ国に及びます。

1945年のオーストラリアの人口は約700万人でした。これ以来、約675,000人の難民を含む650万人以上の移民がオーストラリアに移住しました。

今日のオーストラリアの人口は2100万人に及び、この内43パーセントは海外生まれか、親の少なくとも一人が海外生まれです。

この国ではあらゆる宗教、人種、民族、社会背景のオーストラリア人が平和に共存しています。

## 共有する価値

オーストラリアの移民の文化背景や宗教は多様ですが、皆オーストラリアに慣れ、より広い社会にとけています。この半面、移民を受け入れたオーストラリアは、移民の果たした貢献によって社会的、文化的、経済的に豊かになってきました。

今日のオーストラリア社会の重要な特徴は、その国民の文化の多様性だけでなく、オーストラリアを最優先させるという国民共通の約束による結束の度合いでもあります。オーストラリア人は個々の違いよりも、隣人として共存する利益を優先させます。

オーストラリアの法という枠組みの中で、すべてのオーストラリア人は自分の文化や信念を表現し、オーストラリアの国民生活に自由に参加する権利を有します。同時に、オーストラリアの暮らし方を支える原則や共有する価値(本書のはじめに概略記載)を支持することが全員に求められます。



## 独立国家

オーストラリアは世界に目を向けた独立国家であり、強い経済を有します。その民主的な制度、文化的多様性、国際関係や周辺地域に建設的に関わってきた経緯は、その国際情勢への参加を支える基盤となっています。

ダイナミックで課題の多い国際環境においては、オーストラリアは二国間、地域内、多国間の戦略を進め、世界における責任を果たしながら、国益を追求しています。

## 強い経済

オーストラリアの強い経済は市場経済に基づき、オープン且つ柔軟で、競争力があります。安定してモダンな構造の諸制度は事業に確実性を提供するため、国際投資には好ましい環境です。

オーストラリアは地域の主要な金融拠点でもあり、信頼できる国内外の輸送網、世界一流の情報・電気通信技術、多言語能力と高い技能を有する労働者と規制制度も備わっています。オーストラリア証券取引所は時価総額で世界第8位の規模を誇る上場証券取引所です。

オーストラリアは重要な貿易国であり、その物品とサービスの輸出入総額は4000億ドルを超え、これは世界貿易総額の1パーセントに相当します。オーストラリアの最大の貿易相手国は日本で、続いて中国、アメリカ、シンガポール、イギリス、韓国が主要な貿易相手国となっています。

## オンライン情報

- オーストラリア統計局 (Australian Bureau of Statistics) [www.abs.gov.au](http://www.abs.gov.au)
- オーストラリア政府の情報とサービス [www.australia.gov.au](http://www.australia.gov.au)
- オーストラリア政府レクリエーション・文化ポータル [www.cultureandrecreation.gov.au](http://www.cultureandrecreation.gov.au)
- 外務・貿易省 [www.dfat.gov.au/geo/australia](http://www.dfat.gov.au/geo/australia)

## 数字で見るオーストラリア

首都	キャンベラ
国土面積 本土海岸線 本土以外の島々を含む海岸線	774万平方キロメートル 35,877キロメートル 59,736キロメートル
耕作可能な土地の割合	6パーセント
人口	2100万人
海外生まれの人の割合	22パーセント弱
言語	英語
自宅で第二言語を話す人の割合	15パーセント
通貨	オーストラリアドル (A\$)
主要貿易相手国	日本、中国、アメリカ、シンガポール、イギリス、韓国
労働人口	1028万人
時間 - オーストラリアには3つの標準時間帯があります。  夏時間 (標準時間 + 1)	東部： GMT(グリニッジ標準時間) + 10 中央： GMT + 9.5 西部： GMT + 8  夏時間はニューサウスウェールズ、南オーストラリア、タスマニア、ビクトリア、西オーストラリアで10月上旬から下旬より3月末まで実施されています。
<b>重要な祝日</b>  建国記念日 - オーストラリアデー  イースター  アンザックデー  リメンブランスデー  クリスマスデー	  1月26日  毎年3月下旬から4月下旬  4月25日  11月11日  12月25日



## 国家の象徴

### オーストラリアの国名

オーストラリアという名称はラテン語の*Australis*に由来し、これは「南方の」という意味です。何世紀にもわたり、テラ・アウストラリス・インコグニタ(南方の未知の大地)があるという伝説があり、この表現はこの地域への探検についての書物にも使われました。

オーストラリアという名称が一般によく使われるようになったのは1814年にマシュー・フリンダースがこの大陸の一周航海記録「テラ・アウストラリスへの航海」を出版してからでした。この中で彼はオーストラリアという名称を使用しました。その後、ラクラン・マッコリー総督が自分の公式報告書でこれを使用し、この地名の採用を勧めました。1824年にはイギリス海軍本部がこの大陸の名を正式にオーストラリアとすることに合意しました。

### オーストラリアの国旗

オーストラリアの国旗が初めて掲揚されたのは1901年9月3日で、その場所はメルボルンでした。国旗は濃い青色でユニオンジャックが左上にあり、これはオーストラリアがイギリスの入植地だった歴史を示しています。

5つの星の星群である南十字星はオーストラリアが南半球にあるという地理的位置を表しています。1908年、6つの州を示す六稜星が七稜星に変更されましたが、7つ目のポイントは2つの特別地域を示します。

オーストラリアの各州と特別地域にもそれぞれ独自の旗があります。

### 国の紋章



オーストラリア連邦の権限や財産を示すために使われている国の紋章は1912年に国王ジョージ5世によって授けられました。6つの州のバッジが入った盾が描かれており、これは連邦を象徴しています。紋章のデザインにはゴールデンワトル(オーストラリアの国花であるアカシア)とカンガルーとエミュも入っています。

### 国色

1984年4月以来、オーストラリアの国の色は緑と金となっています。

### 国花

1988年8月以来、ゴールデンワトル(学名*Acacia pycnantha*)がオーストラリアの国花となっています。

### 国石

オパールが1993年に国の宝石と宣言されました。

## 国の動物

カンガルーがオーストラリアの国の正式な動物だと見なす人が多いものの、正式な宣言が行われたことはありません。

## 建国記念日

日本の建国記念日にあたるオーストラリアデーは毎年1月26日に祝われます。この祝日は1788年の総督アーサー・フィリップによるシドニー湾到着を記念するものです。

## 国歌

アドヴァンス・オーストラリア・フェア (*Advance Australia Fair*) は1878年にピーター・ドッズ・マコーミックによって作曲され、1970年代後半によく歌われる国の歌となりました。国歌として正式に宣言されたのは1984年4月でした。

国歌の歌詞：

*Australians all let us rejoice,  
For we are young and free;  
We've golden soil and wealth for toil;  
Our home is girt by sea;  
Our land abounds in nature's gifts  
Of beauty rich and rare;  
In history's page, let every stage  
Advance Australia Fair.  
In joyful strains then let us sing,  
Advance Australia Fair.*

*Beneath our radiant Southern Cross  
We'll toil with hearts and hands;  
To make this Commonwealth of ours  
Renowned of all the lands;  
For those who've come across the seas  
We've boundless plains to share;  
With courage let us all combine  
To Advance Australia Fair.  
In joyful strains then let us sing,  
Advance Australia Fair.*

## オーストラリアの名誉勲章

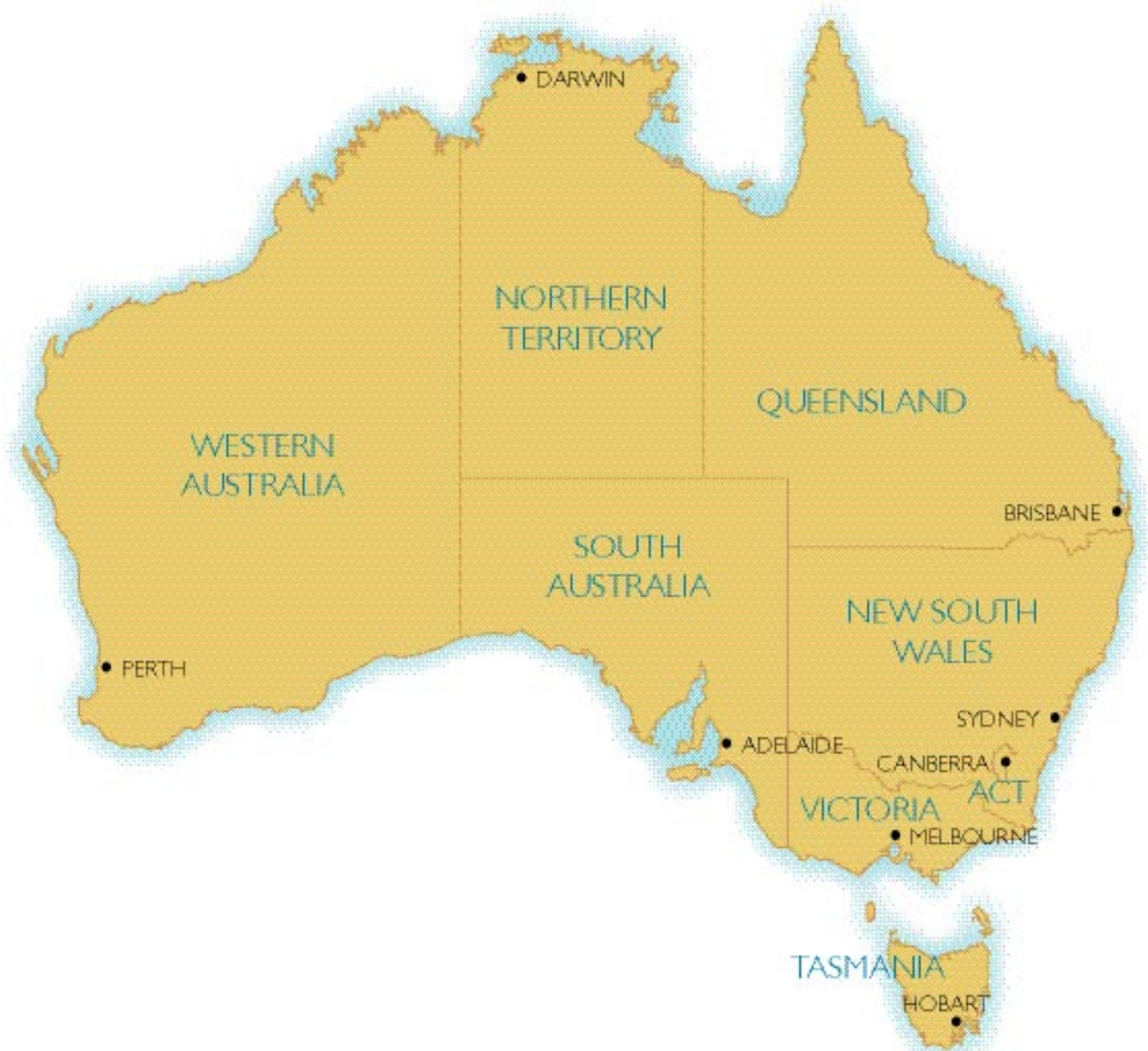
オーストラリア独自の名誉勲章制度はOrder of Australiaの導入で1975年に始まりました。これは国家または人類への貢献を称えるためのもので、この他にAustralian Bravery Decorations とNational Medalという名誉表彰制度もあります。

オーストラリアのこういった名誉表彰制度は特定の者へのひいきや政治的影響がなく、社会の誰でも、名誉賞を受けるべきオーストラリア国民を指名することができます。選考は独立した協議会が行います。

こういった名誉の表彰は模範的な人物を選ぶことによって、国のアスピレーション、理想、基準を定義、奨励、増強するものです。オーストラリアは違いをもたらした人々、自分の最善を達成した人々、他者に奉仕した人々を称え、認め、祝い、彼らに感謝するために名誉賞や勲章を与えます。

## オンライン情報

- オーストラリアの名誉勲章その他の賞とシンボル [www.itsanhonour.gov.au](http://www.itsanhonour.gov.au)
- 総理・内閣府 [www.dpmc.gov.au](http://www.dpmc.gov.au)



# 国と国民

オーストラリアは対照的な側面をもつユニークな国です。

オーストラリア内陸の遠隔地域はよく「アウトバック」と呼ばれ、オーストラリアの歴史と神話において重要な位置を占めます。

しかし、オーストラリアの人口の2100万人の75パーセントは都市部に住み、特に東海岸の肥沃な平原と南東海岸に沿った州都に集中しています。

オーストラリアは「若い」国と見られることが多いですが、世界の他の国々と同様に、平均寿命がますます長くなり、高齢化しています。65歳以上の人が人口に占める割合は2005年の13.1パーセントから2050年には25.7パーセントに上昇すると見込まれています。

## 州と特別地域別の人口

州/特別地域	人口 (百万人)	州都	州都人口 (百万人)
ニューサウスウェールズ	6.55	シドニー	4.12
ビクトリア	4.93	メルボルン	3.59
クイーンズランド	3.90	ブリズベン	1.76
西オーストラリア	1.96	パース	1.45
南オーストラリア	1.51	アデレード	1.11
タスマニア	0.48	ホバート	0.20
首都特別地域	0.32	キャンベラ	0.32
北部特別地域	0.19	ダーウィン	0.11

(資料：オーストラリア統計局)

## 天候

オーストラリアは世界でもっとも乾燥した国の一つです。内陸地域の大部分は不毛な土壌の平原で人口の非常に少ない地域です。

これに対しオーストラリア北部は熱帯気候で、クイーンズランド州の一部や西オーストラリア州北部、北部特別地域(ノーザンテリトリー)では、1月から3月の雨季にはモンスーンのような雨が降ります。

事実、オーストラリアは非常に広大なため、雪や霜から燃えるような暑さまで大半の気候が見られません。



もっとも寒い地帯はタスマニアとオーストラリア本土の南東高原にある高山地域で、もっとも暑い地帯はこの大陸の中西部にあります。

オーストラリアの季節は北半球と逆で、夏が12月から2月、秋が3月から5月、冬が6月から8月、春が9月から11月です。

平均温度が最低なのは7月で、日中平均温度はオーストラリア南部の大半で10度から20度、北部熱帯地帯では20度の後半から30度の前半です。海岸沿いで気温が0度以下になることはまれですが、内陸地域では冬には夜間に少し霜がおりることがあります。高原地域では気温はよく0度以下になり、標高1500メートル以上では1年の内に何ヵ月も雪が見られます。

オーストラリア南部では1月と2月がもっとも暑いのにに対し、熱帯地域でもっとも暑いのは11月と12月です。内陸地域の大半では日中平均気温は30度を超え、西オーストラリアの一部では40度近くになることもあります。南海岸沿いや高原地域、タスマニアでは日中平均気温は低く、20度台です。

## オンライン情報

- 気象庁 [www.bom.gov.au](http://www.bom.gov.au)

## 環境

オーストラリアには非常に多様な土地があり、多数の珍しい動植物が生息しています。私たちはこの環境と豊かでユニークな生物多様性の保護と保全に責任をもって取り組んでいます。

オーストラリア大陸の10パーセント以上(約7700万ヘクタール)が保護されている他、6500万ヘクタールの海洋地域も保護されており、これにはクイーンズランド州北部海岸沖のグレートバリアリーフ海洋公園も含まれます。

オーストラリアには世界遺産リストに載っている地域が17地域あり、これにはグレートバリアリーフ、タスマニア原生地域、クイーンズランド湿潤熱帯地域、カカドゥ国立公園、ノーザンテリトリーのウルル-カタジュタ国立公園、ロードハウ諸島、オーストラリア中東部多雨林保護区などがあります。

## オンライン情報

- 環境・水資源省 [www.environment.gov.au](http://www.environment.gov.au)

## 最初のオーストラリア人

オーストラリアに最初に住んだのはアボリジニとトレス海峡諸島の人々で、彼らは少なくとも4万年前にこの地に來たと考えられており、その到着は6万年も前だった可能性もあります。

1788年に最初のヨーロッパ人入植者が到着した時までには、約750,000人の先住オーストラリア人がオーストラリア大陸各地に住んでいたと推定されています。

先住オーストラリア人にはユニークな靈的信仰、土地への崇敬の念、豊かで多様な文化があり、今も続いているその芸術的伝統は世界最古の伝統の一つです。

彼らの生活様式や文化的伝統、言語は住む場所によって異なり、ヨーロッパ人入植時に先住オーストラリア人が話していた言語と方言の数は約700に及びます。

船乗りや商人との初期の接触はあったものの、先住オーストラリア人はヨーロッパ人入植者の到着まではほとんど誰にも邪魔されることなく暮らしていました。

ヨーロッパ人入植者との当初の接触により、先住オーストラリア人の伝統的生活様式や慣習が妨害され、先住民の人口は19世紀と20世紀初期にかけて激減しました。

1960年代までは先住オーストラリア人の文化や歴史、また国民としての権利と責任も認められませんでした。例えば連邦選挙における投票権が先住オーストラリア人に与えられたのは1965年でした。

しかし1967年のレファレンダム(国民投票)では90パーセントのオーストラリア人が先住オーストラリア人に関する法を制定する権限をオーストラリア政府に与えることと、先住オーストラリア人が国勢調査に含まれるようにすることを承認しました。このレファレンダムの結果は、先住オーストラリア人とそれ以外のオーストラリア人双方が行ってきた強力なキャンペーンが実を結んだもので、先住オーストラリア人の生活水準を改善する対策をオーストラリア政府が直接とることを求めるオーストラリア人の強い希望を示すものと広く一般に見なされました。

今日、先住オーストラリア人の人口は約483,000人とされ、これは総人口の2.3パーセントにあたります。先住民文化はオーストラリアの国としてのアイデンティティの重要な一部であり、アボリジニの人々とトレス海峡諸島民は芸術、メディア、学界、スポーツ、実業界といった多くの分野で大きく貢献しています。

オーストラリア政府は一部の地域で未だに強い先住民社会の不平等を克服する目的で設定されたプログラムや政策を監督しています。これらイニシアチブには健康、住宅、教育、雇用機会を改善するためのものがあります。

政府はまた、先住民が伝統的に関係を持ち続けている土地や、先住民の社会的、文化的、経済的發展を助けることのできる土地へのアクセスや所有の確保に責任をもって取り組んでいます。オーストラリアの国土の約16パーセントは先住民が所有もしくはコントロールしており、この土地のほとんどは遠隔地です。

## オンライン情報

- 家族・コミュニティサービス・先住民省 [www.facsia.gov.au](http://www.facsia.gov.au)
- オーストラリア・アボリジニ・トレス海峡諸島民研究所 [www.aiatsis.gov.au](http://www.aiatsis.gov.au)

## 最初のヨーロッパ人入植者

1600年代初頭からオランダ、ポルトガル、スペインの探検家たちはテラ・アウストラリス・インコグニタ(南方の未知の地)と呼ばれていた大陸の海岸線の一部を見たという報告をしていました。

1770年、イギリス人のジェームズ・クックは自分が船長だったイギリスの帆船HMバークエンデバーで航海し、オーストラリアの東海岸の地図を作り、ここをイギリス国王の領土としました。イギリスはこの後、この新しい辺境の地を犯罪者の流刑植民地として使うことを決定しました。



ヨーロッパ人の入植は1788年1月26日に11隻の船団がシドニー湾に到着した時点で始まりました。ファーストフリートと呼ばれるこの第一船団は、イギリス海軍のキャプテン、アーサー・フィリップが率い、750人の囚人を含む推定1500人の人々を新植民地へ連れてきました。

アーサー・フィリップは当時のオーストラリア本土の名称だった「植民地ニューサウスウェールズ」の初代総督となりました。

入植当初の数年は物資不足のため、飢えと飢饉との戦いでしたが、ついに物資輸送船が到着し、状況は改善しました。フィリップ総督が去った1792年までには、最初の到着者を住ませたテントは粗末な建物に変わり、シドニータウンの初期の輪郭が出来ていました。

数年内にシドニーはにぎやかな港町となり、遠くロシアやアメリカ、フランスからの船も訪れるようになっていました。人口は1800年までには5000人に増え、入植地も内陸に及んでパラマタまで達しました。

1810年から1821年までにかけて植民地はラクラン・マッコリーによって統治されましたが、彼はオーストラリア初期の歴史でもっとも重要な指導者の一人となりました。彼が総督を務めた時代は、流刑植民地が、囚人の労働力で支えられた自由事業に基づく植民地へと変化した移行期となりました。

1820年までには植民地には3万人の囚人と4500人の自由移民が到着し、自由移民は農場や商売を始めて植民地は繁栄を続けました。囚人たちは当初は多くの苦労をしましたが、懸命に働いたり、多くは職人や専門職の技能をもっていたため、最終的には恥ずかしくない社会的地位を獲得しました。1788年から囚人輸送が終わった1868年までの間に囚人としてオーストラリアに連れてこられた男女の数は約16万人に及びました。

入植後の最初の数年は大陸の内陸部や膨大な海岸線についてはほとんど知られていませんでしたが、農作地や羊の放牧地、新しい水源やその他の入植用地を求める圧力がますます高まってきました。

南北の海岸に沿って、また西の内陸へ向けて多くの探検家が困難で危険な探検を行い、グレートディバイディングレンジと呼ばれる山脈を横断する方法を探しました。この後、他の探検家たちは乾燥したナラボー平野やオーストラリアの中央部や北西部など、オーストラリアでもっとも厳しい内陸部へ入っていき、多くの人が命を落としました。

その後30年間の間、入植者は探検家たちの後を追って、この大陸の生活可能なほとんどの地域へ広がりました。バンディーマンズランド(タスマニア)は1825年に別の植民地となり、現在のクイーンズランド、ビクトリア、南オーストラリア、西オーストラリアにも新しい植民地が確立しました。

羊毛産業の成長と、1851年にニューサウスウェールズとビクトリアで金が発見されたことにより、オーストラリアへ移住する自由移民の数は激増しました。

オーストラリアの総人口は1851年の43万人から1871年の170万人へと4倍近くに増えました。この新しい移民の大半はイギリス人でしたが、アメリカ、フランス、イタリア、ドイツ、ポーランド、ハンガリーからの移民もありました。また4万人の中国人も金を求めてやってきましたが、彼らはイギリスに次いで大きな移民グループでした。

## 国家の誕生

植民地ニューサウスウェールズは大陸東部のほとんどすべてを占めていましたが、徐々に他の植民地がこの最初の植民地から分かれて形成されていきました。

1852年、これら新しい植民地に自治が与えられましたが、各植民地は防衛、郵便、貿易、輸送においてそれぞれ独自の制度をもっていたため、人々は植民地間での協力を強化させる必要性をますます認識するようになりました。同時に国家統一を求める気運も高まってきました。

19世紀末までには市民社会の誇りと経済的繁栄が広がり、メルボルンでは初の鉄道が開通し、初めての電報も打たれました。シドニーとメルボルンには大学が創立され、壮観な公共建造物も建てられました。

オーストラリアの独立国家への進化を記す出来事はこの他に2つありました。第一船団上陸の約80年後の1870年には最後のイギリス軍隊が去り、同時にスエズ運河の開通でヨーロッパからの「膨大な距離」が短縮され、オーストラリアへの移民の流入を増やしました。1880年までにはオーストラリアの人口は200万人以上に増加していました。

この国の経済の繁栄は1890年代に干ばつと恐慌に見舞われるまで継続しました。この不況によって、ニューサウスウェールズ議会の議長エドムンド・バートンをはじめとする人々は貿易や政策、防衛などの問題にオーストラリア全体の解決策を適用できる国家政府の確立への決意を確固たるものにしました。

1898年から1900年にかけて、オーストラリアの人々は投票によって連邦化を支持し、一つの憲法に基づいて6つの州を連邦化することで1901年1月1日にオーストラリア連邦が形成されました。連邦誕生当時の先住民以外の人口は380万人でした。

オーストラリアの初代総理大臣はエドムンド・バートンで、彼はニューサウスウェールズで連邦化運動を主導していました。新国家の最初の議会は1901年5月9日にメルボルンの博覧会ビルで開かれました。

新国家の創立者たちはオーストラリアを平和で結束力のある平等主義の国にしたいと考えました。彼らは人権や民主的な手続きの順守、秘密投票の価値について進歩的な考えをもっていました。

オーストラリアは女性に選挙権と被選挙権を与えた最初の国の一つで、南オーストラリアがこの参政権を女性に拡大したのは1895年でした。すべてのオーストラリア人女性は1902年に連邦議会における選挙権と被選挙権を勝ち取りました。

連邦国家の誕生は1901年から1914年の第一次世界大戦まで楽天主義の時代をもたらし、この時代にはオーストラリア経済を発展させた多くの進歩があり、特に農業と製造業の生産力が増大しました。

ヤス - キャンベラ地域が国の首都の用地に選ばれたのは1908年でした。新しい首都の用地が決まると、1911年にその設計の国際コンテストが始まり、137の応募の中から選ばれた設計はシカゴの建築家ウォルター・バーリー・グリフィンが出したものでした。キャンベラが正式に命名されたのは1913年3月12日でした。

暫定的な国会議事堂として使われる建物の建築はキャンベラで1923年8月28日に開始しましたが、これはグリフィンが国会議事堂用地として提案した土地のすぐ下に位置していました。キャンベラで開会式も含めた最初の国会が開かれたのは1927年5月9日でした。



## 戦争の影響

オーストラリアは国家として独立しましたが、イギリスへの思いと家族のきずなは強く、1914年にベルギーに侵攻したドイツに対してイギリスが宣戦を布告した時には、オーストラリアも同盟国の一員としてイギリスと共に戦いました。

第一次世界大戦はオーストラリアに重大な影響を及ぼしました。1914年におけるオーストラリアの総人口は約450万人で、男性人口はおそらく300万人よりも大幅に少なかったと推定されますが、417,000人ものオーストラリア人男性がこの戦争で戦うために志願し、330,000人以上が実際に戦争で戦いました。終戦の1918年までの戦死者は約60,000人、負傷者は152,000人以上に及びました。

この経験から生まれたのは、オーストラリアでもっとも長く続いている価値である、勇気、精神、仲間意識というアンザックの倫理的特質でした。

毎年4月25日にはオーストラリアは勇敢ながら結局は失敗に終わった、トルコのガリポリでの1915年の戦闘に追悼を捧げます。この戦闘はアンザックスと呼ばれるオーストラリア・ニュージーランド軍団とその他の同盟軍が戦ったものです。

アンザックスは(イギリス、フランス、インドの軍隊とともに)ダーダネルス海峡を強行突破し、コンスタンチノープルを砲撃することによってトルコ軍を打破する目的でガリポリに上陸しました。しかし険しく急な海岸線とトルコ兵による堅固な防御により侵攻がままならず、1915年12月20日に撤退しました。8ヵ月続いたこの軍事作戦の結果、推定8700人のオーストラリア人が戦闘で、あるいは怪我や病気が原因で死亡しました。

今日、アンザックデーはこの戦闘で戦った兵士だけでなく、これ以降の戦争で戦ったすべてのオーストラリア兵に追悼を捧げる日となっています。

2つの大戦の間の時代は(1919-1939年)社会的及び経済的に不安定な時期で、特に大恐慌の時には多くのオーストラリアの金融機関が破綻しました。

羊毛と小麦(オーストラリアの主要輸出品)の価格が暴落し、イギリス資本の撤退とその他の輸出価格の下落が大規模な金融危機を招きました。失業率が激増し、1933年までに労働者の3人に1人近くが失業し、国民所得が激減しました。

国がこの恐慌から回復している頃、「すべての戦争を終えるための戦争」が終わってからまだ20年強しか経っていないにもかかわらず、世界は再び戦争を開始しました。1939年、ドイツがポーランドに侵攻するとイギリスはドイツに宣戦布告をし、オーストラリアの総理大臣ロバート・メンジースはオーストラリアの参戦で応えました。

第二次世界大戦中、オーストラリア軍はヨーロッパとアジア太平洋における連合軍の勝利に大きく貢献しましたが、死傷者も多く、ほぼ4万人のオーストラリア人が戦死し、この他多くの人が負傷しました。

この戦争で戦い、生き残った世代はオーストラリアという国の能力に誇りを感じましたが、同時にシンガポール陥落、日本軍によるオーストラリア北部のブルーム、ダーウィン、タウンズビル爆撃、シドニー湾における潜水艦攻撃、現在のパプアニューギニアにあるココダ山道における日本侵攻軍との戦闘などで、戦争がオーストラリアの足元までやってきたことを認識しました。

ガリポリと同様に、ココダでの戦闘は戦争でのオーストラリア人の勇気と精神を象徴するものとなりました。4ヵ月続いたこの戦闘では、ポートモーズビー占領を目的にパプア北海岸に上陸した日本侵攻軍を撃退するために、ひどい条件の中で合計625人のオーストラリア人が戦死し、1055人が負傷しました。

## オンライン情報

- オーストラリア戦争記念館 [www.awm.gov.au](http://www.awm.gov.au)

## 繁栄と変化

戦後直後の時期には何十万人もの難民と移民がオーストラリアに到着しましたが、この頃はちょうどオーストラリアの製造業で働ける労働者が不足していた時でした。

1950年代には経済は大きく発展し、完全雇用に近い労働市場でオーストラリア人の生活は豊かになりました。自宅所有率も1947年の40パーセントから1960年代の70パーセントへと大幅に上昇しました。

人口は1945年の約740万人から1960年の1040万人に増加し、イギリス人以外の移民数の増加で人口構成も大きく変化し始めました。

オーストラリアの貿易関係も変わり、最大の貿易相手国も1970年代にはイギリスから日本に変わりました。

その他の発展には、政府の社会保障プログラムの漸進的拡大と1956年のテレビの上陸があります。この年は当時オーストラリア最大の国際イベントだったオリンピック大会がメルボルンで開催された年でもありました。

第二次世界大戦以来、オーストラリアの政権を握ってきたのは、自由党とカントリー党(現国民党)の連合政権が合計40年間、労働党が合計20年間です。

社会と経済の発展プロセスは今も継続しています。

過去20年間においては広範な経済改革が実施され、近年ではオーストラリアは世界でも最良の発展を見せてきた先進国の一つとなりました。その経済成長が新しい雇用機会の増加と生産性の向上を生み、これに支えられてオーストラリア人の生活水準も高くなりました。

## オンライン情報

- オーストラリア国立図書館 [www.nla.gov.au](http://www.nla.gov.au)
- オーストラリア政府文化・レクリエーションポータル [www.cultureandrecreation.gov.au](http://www.cultureandrecreation.gov.au)



## オーストラリアを故郷と呼ぶ人々

オーストラリアという国を築いていく中で、移民受け入れは常に重要な位置を占めてきました。オーストラリアへの移民の到着は1788年に始まりました。

19世紀半ばのゴールドラッシュ時代には毎年平均して約5万人の移民がオーストラリアに到着しました。オーストラリアとその他の国々の経済と社会の状況を反映し、オーストラリアへの移住はその後何年も続きました。

大半の移民はイギリスとアイルランドの出身で、このアングロ・ケルト族の伝統がこの新しい国の基盤となりました。

第二次世界大戦終戦時、ヨーロッパで母国から追われた難民の数は何百万人にのぼりました。同時にオーストラリアでは労働力が非常に不足し、この国の将来のためには大幅な人口増加が必要不可欠だという世論が広まりました。

こういった要因やその他の理由で、連邦移民省が1945年に設置されました。以来同省は名称が何度か変更しましたが、現在まで継続して存在しています。

1947年までにはオーストラリア移住ブームが生じ、旅費の政府援助を受けた多くの移民も含めて膨大な人数の移民が到着し、その数はますます増えていきました。白豪政策が原因でこれら移民のほとんどはヨーロッパ出身で、1901年の連邦化から1970年代初めまで続いた同政策は世界の多くの地域からの移民受け入れを制限するものでした。

1945年以来オーストラリアに移住した650万人の多くは、家族を養うため、あるいは貧困や戦争、迫害から逃れたいという動機でこの国に来ました。彼らは自分自身と家族のために新しい生活を確立すると固く決心していたため、自分の機会を最大限に活用するために懸命に働く意志がありました。

例えば、オーストラリア南部アルプスの巨大な水力発電プロジェクト、スノウイーマウンテンズ計画 (Snowy Mountains Scheme) では10万人以上の移民が働き、彼らの出身国は30カ国に及びました。このプロジェクトは完成までに1949年から1974までの25年を要しました。

1970年代半ばまでにはヨーロッパ人以外の移住に対する初期の制限が徐々に撤廃され、それ以来オーストラリアの移民受け入れ政策は差別のないものになりました。個人の出身民族、性別、人種、宗教はビザ取得の適格性を決定する上でまったく影響を及ぼしません。

### オンライン情報

- 移民・市民権省 [www.immi.gov.au](http://www.immi.gov.au)

## 民主主義と政治

オーストラリアは代表制民主主義、つまりオーストラリア国民が参政できる議会制の政治制度を有しています。

この制度は民主的伝統に基づくもので、宗教上の寛容、結社の自由を推奨するものです。オーストラリアの国の政治の中心にある制度や慣習には、イギリスと北アメリカの伝統と共通する特徴があります。

## オーストラリア憲法

オーストラリア連邦(Commonwealth of Australia) は1901年1月1日にオーストラリア憲法が施行した時点で連邦国家として確立されました。オーストラリア憲法はオーストラリアの国の政治に関する基本的枠組みを定めています。

憲法の変更は可能ですが、これは憲法の定めに従って実施された国民投票で有権者の承認があった場合にのみ、行われます。いかなる変更も「二重の過半数」を超える承認を必要とし、有権者の過半数だけでなく、過半数の州(6州の内最低4州)で過半数の有権者が承認しなければなりません。

## オーストラリアの連邦制

オーストラリア憲法は連邦政府(国の政府)と6つの州政府で構成された連邦制政治を定めています。これに加え、連邦議会によって自治権のある特別地域が確立されており、これらはほぼ州と同じように機能します。州や特別地域は一部の地元の諸事項(公園、地元の道路、ゴミ収集など)を扱うために地方自治体を確立しています。

オーストラリア憲法は連邦議会が法を制定できる事項を明示しており、これには外務、州の間と国外の貿易、防衛、移民の受け入れが含まれます。一定の例外を除いて、州と特別地域は州と特別地域に関連するいかなる事項についても法を制定することができますが、連邦法と一致しない法を制定することはできません。州と特別地域の法が適用される分野の例には教育、道路、警察、火災、公共交通などがあります。

連邦レベルでも州レベルでも政治には3つの部門があり、これは立法府(議会)、行政府、司法部です。

オーストラリアの政治制度はウェストミンスターと呼ばれるイギリス議会制政治制度の伝統に負うところが多く、これはイギリス議会の議事堂であるウェストミンスター宮殿にちなんでこう呼ばれています。同議会制政治制度は何世紀にもわたって発展してきたもので、その主な特徴は国の元首と政治の長が異なる点と、議員で構成される行政府が議会に直接責任を負う点です。「法の支配」があり、司法制度は議会から独立しています。

オーストラリアの議会は、その権限が州憲法または連邦憲法によって制限されている点でウェストミンスターモデルとは異なります。



## オーストラリア政府

国の法を制定する連邦議会は下院(House of Representatives)と上院(Senate)の二院で構成されています。両院の議員は連邦選挙でオーストラリア国民によって直接選ばれます。下院の最長任期は3年間で、上院の最長任期は6年間です(下院の連邦選挙はよく上院半分の選挙と同時に Rowe れます)。

上院には76名の上院議員がおり、6つの各州からそれぞれ12名、北部特別地域と首都特別地域から各2名の議員で構成されています。下院では各州の議員数は各州の人口に左右されます。下院の議員数は上院の議員数の2倍、もしくは可能な限り2倍に近くなければなりません。現在、下院の議員数は150名で、各議員は特定地域(選挙区)の有権者約8万人を代表しています。

政府(通常はオーストラリア政府と呼ばれる)は下院で過半数を占める政党もしくは連立政党によってつづられます。総理大臣(Prime Minister)はその政党もしくは連立政党の議会の指導者であり、国民が直接指名するのではなく、下院で過半数を占める政党が指名します。政府は上院で過半数を占める必要はありません。

法案が法になるためには、両院による承認が必要です。いずれの議院も法案を出すことができますが、財政法の一部については下院でまず法案が出されなければなりません。

## 選挙

新しい政府は通常、総選挙の後に成立します。

オーストラリア政府の最長任期は新国会の初回の議会が開かれた日から3年間です。ただし、総理大臣はこの3年を終了する前に総選挙日の発表を総督に要請することができます。

1901年5月9日に最初の国会が開かれて以来、40回以上の下院選挙が行われてきました。

## 選挙登録と投票

連邦、州、地方自治体の選挙で投票するためには、誰でもまず有権者名簿に載っていなければなりません。オーストラリア国民で17歳以上の人なら誰でも有権者登録を行うことができ、18歳になり次第、投票することができます。有権者登録用紙はオーストラリア選挙管理委員会(AEC: Australian Electoral Commission)のオフィス、郵便局、AECのウェブサイトから入手できます。

オーストラリア人が外国の居住者となった場合には、連邦選挙で投票するための登録を維持するために、出国後3年以内に在外選挙人として登録する必要があります。この登録は最高6年間まで有効ですが、これ以上延長したい場合には、AECに毎年申請しなければなりません。

有権者登録と投票を行うことは、適格なオーストラリア国民全員に義務づけられています。投票しなかった場合の罰金は比較的少額ですが、オーストラリアは世界でも最高の選挙率を有する国の一つで、有権者の90パーセント以上が選挙プロセスに参加しています。オーストラリア国民は3つの政治領域-国、州か特別地域、地方自治体-それぞれへの代表者を選ぶために投票を行います。

有権者登録をしたオーストラリア人は選挙時に国外にいる場合でも連邦選挙で投票することができ、または事前投票期間が始まっていれば、出国前に不在者投票をすることもできます。

国は連邦選挙用に選挙区に分けられています。下院については、オーストラリアの有権者は自分の地元選挙区で立候補している候補者の中から、自分の投票する候補者を選びます。得票数が50パーセントに達する候補者が誰もいない場合には、得票数が最低だった候補者が除かれ、その候補者の得た票が、投票者の記入した第二希望に従って他の候補者に再分配されます。

このプロセスは一人の候補者の得票数が50パーセントに達するまで繰り返されます。

プレフェレンス(Preferences)と呼ばれるこの優先順位式投票制度は上院選挙でも使われ、立候補者は自分の立候補している州や特別地域の特定割合に達しなければなりません。

オーストラリアの議員のほとんどは政党に属しています。これら政党は、国がどのように統治されるべきかについて同様の理想と哲学を共有する人々の集団で構成されています。

オーストラリアでは誰でも政党に入ることができ、党の目標や政策の設定に参加したり、選挙運動で党の候補者に協力することができます。

オーストラリアの国会議員に立候補するためには、候補者はオーストラリア国民でなければならない、他国の市民権も保持する場合には、その市民権を放棄するために最大限の努力をしたことを示さなければなりません。

## 州と特別地域の政治

各州には独自の議会があり、議会は該当する州の政治の意思決定機関です。クイーンズランド州議会を除くすべての州は二院制です。

州議会への代表者として選ばれた議員は通常、メンバーと呼ばれ、下院議員は (MLA: Members of the Legislative Assembly) と呼ばれ、上院議員は (MLC: Members of the Legislative Council) と呼ばれます。州政府の長は首相(Premier)と呼ばれます。

北部特別地域とオーストラリア首都特別地域は異なる制度を有し、議会は一院制でレジスレティブ・アセンブリー(Legislative Assembly)と呼ばれます。各特別地域の長は首席大臣(Chief Minister)と呼ばれています。

州と特別地域の政府は法と秩序、消費者問題、医療保健、教育、森林管理、公共交通、主要道路などに責任を負います。



## 地方自治体

地方自治体の意思決定機関は通常、シティカOUNシル (city council) またはシャイアカOUNシル (shire council) と呼ばれる議会です。カOUNシルは市や地元地域の特定のニーズを満たすために州政府によって確立されたものです。この議会を構成するのは地元住民の代表者で、アルダーマン (aldermen) またはカOUNシラー (councillor) と呼ばれます。カOUNシルの長は市長 (mayor) またはシャイア・プレジデント (shire president) です。

地方自治体は、地元道路の維持、ゴミの回収、建築規制と土地分譲、公共衛生、スイミングプールなどのレクリエーション施設などに責任を負います。

## 立憲君主

オーストラリアは独立国家ですが、オーストラリアの女王であるイギリス女王エリザベス2世と憲法上の結びつきを維持しています。

女王は自分の代理人としてオーストラリアの総督 (Governor-General) を任命しますが、これは総理大臣の助言に基づいて行います。総督は総理大臣の助言に基づいて大臣を任命し、伝統的慣例に従って、ほぼすべての事柄について大臣の助言に基づいてのみ行動します。

## 連邦法制度

オーストラリアの法制度は手続きの正当性と法の前の平等という基本的概念を反映しています。

オーストラリアの司法部は法の解釈と適用に責任を負います。裁判官はこの責任を履行するにあたり、政府から独立して行動します。

オーストラリア最高裁判所 (High Court of Australia) はあらゆる訴訟における最後の控訴院です。最高裁判所の主要機能の一つはオーストラリア憲法を解釈することです。同裁判所はある法律が憲法違反、つまり国会の権限を超えており、従って無効であると判断する場合があります。

## オンライン情報

- オーストラリア国会 [www.aph.gov.au](http://www.aph.gov.au)
- オーストラリア選挙管理委員会 [www.aec.gov.au](http://www.aec.gov.au)
- オーストラリア最高裁判所 [www.hcourt.gov.au](http://www.hcourt.gov.au)

# 今日のオーストラリア社会

今日のオーストラリア社会を定義づける特徴の一つは人々の文化的多様性と、オーストラリアを最優先させるという結束力のある約束によって人々が団結している度合いでしょう。

もう一つの明確な特徴はオーストラリア社会の平等主義です。これは誰もが同じであるとか、誰もが平等な富や財産をもつという意味ではありません。これは、懸命に働き、何にでも責任をもって取り組み、有力な人間関係や影響力のある支援者がなくとも成功できるという意味です。

オーストラリアの法の枠組みの範囲内で、すべてのオーストラリア人は自分の文化や信念を表現することができ、オーストラリアの国民生活に自由に参加することができます。オーストラリアは、誰でも自分の出身国や出身文化、言語、性別、宗教上の信条を理由に不利な立場に置かれるべきではないという信念を固守します。

安定して平和的で、繁栄した社会を維持するためには、オーストラリア社会を支える共通の原則と価値をあらゆる民族・文化背景をもつオーストラリア人が支持することが求められます。

4ページのオーストラリアの価値と原則をご覧ください。

## 法と社会慣習

オーストラリアにおける社会の行為は公式な法と非公式な社会慣習の組み合わせによって律されています。

オーストラリアのすべての人々はこの国の法に従わなければならない、従わない場合には、刑事訴追や民事訴追を受ける可能性に直面します。また人々は一般的に、オーストラリアの社会慣習や習慣、慣行に従うことも求められますが、これらには通常、法的強制力はありません。

オーストラリアの法はオーストラリア連邦、州、特別地域の議会によって制定されます。警察の仕事は社会の平和と秩序を維持し、法に違反したと考えられる人々を裁判所に出廷させることです。地域社会や地元社会でも人々は問題があった時にはお互いに助け合い、変わったことや不審なことがあった時には地元の警察署に知らせます。

オーストラリアにはオーストラリア連邦警察(Australian Federal Police)と呼ばれる国家警察があり、この連邦警察は薬物取引、違法移民、国家の安全を脅かす犯罪や環境犯罪といった連邦法に反する犯罪を捜査します。すべての州と北部特別地域には、州法や特別地域法に基づいた犯罪を扱う独自の警察があります。オーストラリア首都特別地域の治安維持は連邦警察によって行われています。

警察官は人々を逮捕し、裁判で証人となりますが、人々が有罪かどうかを最終的に決定するのは警察官ではありません。これは裁判所が決定します。

オーストラリアでは警察と社会は良好な関係にあります。皆さんは犯罪を通報したり、警察の助けを求めることができます。警察から職務質問をされた場合には、穏やかな態度を保ち、礼儀正しく、協力的にしましょう。

## 裁判所と法

裁判所は司法の執行に責任を負い、法律違反があったかどうか、犯罪を犯したという有罪判決を受けた人々に何がなされるべきかについて決定します。



下級裁判官が審理を行う場合もあれば、国民の陪審員が裁判官の指導の下に判決を下すこともあります。すべての訴訟において被告は合理的疑いの余地なく有罪であると立証されるまでは無罪だと見なされます。また被告は弁護士を代理人とする権利を有します。

場合によっては、弁護士料を支払えない人に無料の法的援助が提供されることもあります。

一定の一時滞在ビザ保持者は、オーストラリアの滞在継続に有罪判決が及ぼす結果や影響について必ず知っておくべきでしょう。

## 刑事犯罪

重大な刑事犯罪には殺人、暴行、性的暴行、小児性愛、人に対する暴力や所有物に対する危害、持凶器強盗や窃盗、危険な自動車運転、違法薬物の保持と使用、詐欺、同意能力を有する法的年齢(オーストラリアでは州によって異なる)に満たない青少年と性関係をもつことなどがあります。

オーストラリアは文化的多様性を大切にしますが、宗教や文化の実践はオーストラリアの既存法に従わなければなりません。例えば、州と特別地域の法は性器切除や家庭内暴力を伴う慣習を禁じています。

## 家庭内暴力

他国と同様に、オーストラリアでは他人への暴力は違法であり、非常に重大な犯罪と見なされます。これには家庭内暴力と呼ばれる家庭内や婚姻関係内の暴力も含まれます。家庭内暴力は、ある者が被害者に身体的、性的、精神的な虐待や被害、強制的性関係、強制的隔離や経済的剥奪を経験させる、あるいは恐れさせる結果となる可能性がある行為と見なされています。

## 薬物、喫煙、飲酒

違法薬物の供給や所持には非常に重い罰則が科される場合があります。薬物の生産、供給、販売で有罪となった人には、もっと重い罰則が科せられます。タバコの喫煙と飲酒は違法ではありませんが、公共の場での喫煙や飲酒には多くの制限があります。

タバコの喫煙が禁じられている場所はますます多くなっており、ほとんどの政府のオフィス、診療所、職場が禁煙となっています。大半の州と特別地域ではレストランやナイトクラブ、パブ、学校、ショッピングセンターなどの屋内の公共の場での喫煙は禁じられています。州や特別地域によっては、屋外の公共の場でも喫煙が禁じられている場所があります。18歳未満の未成年者に小売店がタバコ製品を売ることは法律違反です。

オーストラリアでは飲酒は法的に許されていますが、一定の場所と一定の年齢に限られます。18歳未満の未成年者にアルコールを販売または供給することは違法です。18歳未満の未成年者が家などの私有地以外でアルコールを飲むことは法律違反です。飲酒の健康への影響についてより詳しい情報をお求めの方は、オーストラリアのアルコールガイドラインを参照してください。

## オンライン情報

- [www.alcohol.gov.au](http://www.alcohol.gov.au)

## 交通法

自動車の運転については州と特別地域の政府が規制を行っています。オーストラリアで車を運転するためには、居住者は国内の運転免許証を持たなければならず、車は登録されていなければなりません。交通法に違反すると、多額の罰金を科されたり、運転免許証を取消されたり、懲役を受けることさえあります。車に乗っている者全員にシートベルトの着用が義務づけられています(子供や赤ん坊の場合には認可されたチャイルドシート)。

42ページの運転免許証のセクションをご参照ください。

交通法は特に制限速度と飲酒運転については厳しく、運転中に携帯電話を手で持って通話することも違法です。

## 動物愛護

動物を虐待したり、遺棄することは法律違反です。すべての動物は家庭のペットであれ、野生動物であれ、思いやりをもって扱うことが求められます。オーストラリアの多くの野生動物は保護されており、狩猟については厳しい法律があります。他人の私有地内の動物を殺すことは禁じられており、通常、家庭の動物を家の中で飼うことを許す地元の法律があります。多くのオーストラリア人は犬、猫や鳥を自分の家の裏庭(バックヤードと呼ばれる)で飼っています。

## 銃その他の武器

オーストラリアではナイフや火器を持ち歩くことは違法です。狩猟やスポーツとしての射撃などの目的で、あるいは農場での利用目的で銃の所有を希望する場合には、免許を得る必要があります。無免許で無認可の銃をもつことは違法です。

## その他の法律

ゴミの投げ捨て、汚染、許可のない不要物の棄却や、度を過ぎる騒音を禁じる法律もあります。

オーストラリアには死刑はありません。

## 社会慣習

オーストラリアだけに適用される社会慣習というものはほとんどありませんが、場合によっては重点やアプローチが他国の慣習と比較して異なることがあります。分からない時には友人や近所の人、または同僚に聞いてみるのが最善です。

例えば、たいていのオーストラリア人は知人や同僚との関係において比較的形式的に形式ばらないことが多く、職場や友人の間では、ほとんどのオーストラリア人はお互いをファーストネームで呼び合う傾向にあります。

ただし、このうちとけた態度は身体的接触にまでは及びません。誰かと初めて会った時には、その人の右手と自分の右手で握手をするのが普通です。お互いに知らない人同士が会った時にキスをしたり、抱きしめたりすることは一般的にはありません。



## 礼儀正しいふるまい

「プリーズ(Please)」や「サンキュー(thank you)」は人に応対する時や、物を買ったりサービスを受ける時にはとても役立つ言葉です。お茶や何かを欲しいかと聞かれた時には、欲しい場合にはイエスプリーズ(yes please)か、ただプリーズ(please)、いらぬ場合にはノーサンキューと言うのが礼儀正しいふるまいです。何かを受け取った時には、相手に「サンキュー」と言ってお礼を言うのがいいです。

オーストラリア人はよく、人の注意を引きたい時には「エクスキューズミー(excuse me)」と言い、人にあたった時には「ソーリー(sorry)」と言います。また、公共の場や人の家でげっぷをした時には「エクスキューズミー」または「パードンミー(pardon me)」と言います。

また店や銀行、政府官庁、映画館など、多数の人たちが同時にサービスを求めている場所ではどこでも一列に並び、通常、自分がサービスを受ける番がくるまで待ちます。これは他者への尊重を表すもので、皆が必要なものを得るためのもっとも公平な方法です。

ミーティングや訪問などの時に時間を守ることは大切です。遅くなるのが分かった場合には、相手に連絡して知らせるようにしましょう。時間厳守は医者などの専門職者に会う時はとても重要で、遅刻したり、事前に連絡せずに行かなかつたりすると料金を課されることもあります。

大半のオーストラリア人は歩道に吐き出すのではなく、ハンカチやティッシュを使って鼻をかみます。これはつばを吐く場合も同様です。誰かがくしゃみをする、多くの人が「ブレスユー(bless you)」と言いますが、これには宗教上の意味はありません。

## 身体衛生

自分と自分の家族やその他の人々を病気から守る最良の方法は良好な身体衛生を保つことです。ほとんどのオーストラリア人は食事を作る前や食べる前、せきやくしゃみをした後や、トイレを使った後、動物を触った後や、病原菌を移すことで自分と他者の健康に危険を及ぼす可能性のあることをした前後には、手を洗うことで自分と他者の衛生に気をつけます。

他者と一緒に食事をしている時には、病原菌の感染を予防するため、出されたユーテンシルで食べ物をとるのが通常の習慣です。ユーテンシルとはトング、スプーンやフォーク、はし、サラダサーバーなどです。

## 服装

人々が着る服装の種類は、天候の違いだけでなく、オーストラリアの多様性を反映しています。服装についての法律や規則はありませんが、仕事の場合には一定の服装を着なければなりません - 大半の職場には服装基準があります。

仕事以外では、服装は個人の選択で、多くの人は快適性、社交の場、天気などを重視した服装を選びます。クラブや映画館、その他の場所ではきちんとした清潔な服装と適切な靴の着用が求められます。

多くのオーストラリア人はビーチや海の近くに住んでいます。暑い日には、ビーチとその周辺では水着を着たり、ほとんど服を着なかつたりします。これはビーチや水泳に行く服装をしている人の道徳水準が低いという意味ではなく、これがビーチやその付近でオーストラリア人が受け入れる服装だということ

とです。州によっては、指定された「ヌーディスト」ビーチがいくつかあるところもあり、ここでは水着や服を着ないで泳ぐことが許されています。

他国から来た人々は文化的に適切な服装をして構いません。

## 招待

昼食、夕食、バーベキュー、パーティ、結婚式、誕生日パーティなど、どんな催しに招待されても、招待されたその時に、または手紙、電話、メールで返事をするのが普通です。昼食はランチ(lunch)と呼ばれ、夕食は通常はディナー(dinner)と呼ばれます。人によっては夕食をティー(tea)と呼ぶこともあり、これは夕食か、文字通りお茶を意味します。お茶はカップ(cuppa)とも呼ばれます。ティーに招待された場合には、招待された時間から夕食なのかお茶なのかが判断できるでしょう。ティーへの招待が午後6時(18時)以降であれば、通常は夕食を意味します。

食事への招待を受ける場合には、食べられないものをホストに伝えておくのが普通です。特別な食事上の要件や制限があるかどうかを尋ねられることもあるかもしれません。肉食主義者で肉を食べないとか、イスラム教徒やユダヤ教徒で豚肉を食べないなどと言っても問題なく、ホストがアルコールを飲んでいても、自分が望まなければお酒を飲むことも求められません。

## 変化する家族の役割

オーストラリアの伝統的家族は父親、母親、子供で構成されていますが、この他にもいろいろな形式と大きさの家族があります。片親だけの家族も多く、親の再婚で義理の親や兄弟姉妹のいる混合家族もあり、また男性同士または女性同士のカップルや、同居はしているものの正式には結婚していないカップル(デファクトと呼ばれる事実婚)もいます。事実婚はオーストラリアでは法的に認識されています。

オーストラリアの家族内の役割もさまざま、家庭によっては母親だけが働いて、父親が家で育児をしているところもあります。

オーストラリアでは結婚は、両者に結婚する意志がある場合にのみ許されます。結婚できる最低年齢は18歳ですが、いずれかが16歳か17歳の場合には例外的に裁判所が結婚を承認することもあります。同時に複数の夫または妻をもつことは違法です。

## 典型的なオーストラリア人はいますか

近年、オーストラリア人のアイデンティティや、標準的な特質や性格をもつ「典型的な」オーストラリア人などというものが存在するかどうかについて多くの議論がなされてきました。

よく知られたステレオタイプは多数ありますが、時にはステレオタイプの中に矛盾があり、混乱させることもあります。

例えば：

- オーストラリア人は平等主義で、権威者に深い懐疑心のある不敬な国民です – ただし、ほとんどは法に従う体制順応者です。
- オーストラリア人は主に田舎や奥地に住む口数の少ない国民です – ただし、ほとんどの国民は国際色豊かな都会暮らしです。



- 都会に住む人であれ、田舎に住む人であれ、オーストラリア人はオープンで率直、自分の意味することをそのまま言います。
- オーストラリア人はフェアゴー(fair go)の原則を重視します(フェアゴーの定義についてはオーストラリア英語(Australian English)のセクションをご覧ください)。32ページ参照。
- オーストラリア人は自分の仲間(友人)や不利な立場にある人、アンダードッグ(負け犬)のために立ち上がります。アンダードッグとは、スポーツやコンテストでほとんど勝ち目のない選手やライバルを指します。
- オーストラリア人は観戦者としても、参加者としてもスポーツ好きです。

オーストラリア人がイギリスの伝統や、より最近ではアメリカとの強い関係から、あるいは戦後オーストラリアに来た何百万人もの移民から、どれだけ影響を受けてきたかについても意見が分かれています。

オーストラリア人は時に、地理的にアジア太平洋地域に位置しているということを受け入れようとしているヨーロッパ人だと見られることがありますが、同時にオーストラリアは、その地理的位置とアジアの言葉話す国民が多数いることから、アジアへの門戸としてもとらえられます。

本当のところは、もちろん、オーストラリア人も世界中の人々と同様に簡単にステレオタイプに分けることはできません。よく知られたイメージにはあたっている部分もあり、大半のオーストラリア人はこのイメージの少なくともいくつかにはあてはまります。ただし、どのイメージにどのくらいあてはまるのかは、個人によって違います。

仲間意識(友情)やフェアゴーなどのように、オーストラリア人と深く結びついている特質の中には、世界中の多くの人々が共有し、重視する特質もあります。同情、公平さや友人への忠誠心などは当然のことながら、オーストラリア人だけのものではありません。

こういった用語について非常にオーストラリア的なのは、これらがオーストラリアの歴史とオーストラリア人の心に固く根づいていることでしょう。

仲間意識やフェアゴーの概念は、オーストラリアの初期入植者が見知らぬ、厳しい、苛酷ですらある環境としばしば厳しい生き残りの戦いをしてきた経験から培われてきたもので、これは、後に洪水、山火事、干ばつを通してお互いに頼りにし合い、支え合ってきたオーストラリアの田舎に住む後世の男女によって受け継がれ、強化されてきました。

ニューサウスウェールズのグレンフェル金鉱で1867年に生まれたヘンリー・ローソンは、仲間意識、男性の尊厳、ブッシュと呼ばれるオーストラリアの田舎の男女の生活について描いたシンプルな文体の物語で、オーストラリアの当時の状況をもっともよく表現しました。

仲間意識や忠誠心という特質は、グレートウォーとも呼ばれる世界第一次大戦でのオーストラリアの経験とガリポリにおけるアンザックスの戦闘においてさらに貴重な精神として重視されるようになりました。

初期オーストラリア人についてのこういった特質やその他の特性は今日も強く残っており、これらは後のヨーロッパ、アメリカ、アジア、アフリカ、中東からの何百万人もの移民の影響を受けて、磨かれ、豊かになってきました。

より最近の居住者はオーストラリアの文化と特質に豊かさを加え、新しい態度や伝統の形成を助けてきました。彼らの貢献は非常に大きく、事業から芸術、料理からコメディまで、オーストラリア人の生活をほぼ全面的に豊かにしてきました。

## ボランティア活動 – 仲間意識の実行

オーストラリア人はボランティアとして報酬なしで社会奉仕などをよくすることで知られています。18歳以上のオーストラリア人の600万人以上が積極的にボランティア活動をしており、救急サービス、福祉、環境の保護保全、資金集め、経営、教育、管理など幅広い範囲で支援活動を行っています。

オーストラリアのブッシュファイヤーと呼ばれる山火事の消防団員や救急員の多くはボランティアです。

ある調査によれば、ボランティア活動をした人の47パーセントは、その理由を社会奉仕に加わりたかったからとしています。その他の43パーセントは個人的な満足感が得られるからという理由を挙げました。

## オンライン情報

- ボランティアリング・オーストラリア [www.volunteeringaustralia.org](http://www.volunteeringaustralia.org)

## オーストラリア英語

オーストラリアの国語は英語ですが、広く一般に使用され、オーストラリア独特の英語と見なされるようになった一定の言葉や表現があり、これらの中にはこの国に新しく来られた方には奇妙に思えたり、混乱させるものもあるかもしれません。

これら俗語には多くの異なる由来があります。長い言葉を短くしたものもあれば、イギリス北部出身の移民が既に使っていたもので、オーストラリアの表現となったものもたくさんあります。オーストラリア人はよく言葉を短縮し、例えばフットボールはフティー(footy)になり、テレビはテリー(telly)に、バーベキューはバービー(barbie)になります。

こういった言葉の利用は、皮肉で不敬なことで特徴付けられたオーストラリア人のユーモア感覚を伴い、時に分かりにくいことがあります。

ある表現の意味が分からない場合には、それを言った人に説明を求めても構いません。

折々聞くことのある、よく使われる表現には次のものがあります：

**アーボ(Arvo)：**アフタヌーンの短縮形。「drop by this arvo」は「今日の午後いらっしゃい」の意味。

**バーベキュー、BBQ、バービー(Barbecue, BBQ, Barbie)：**外でガスや木炭を使ったグリルやホットプレートの上に肉をのせて料理すること。ホストは肉とサラダとパンを出します。BBQに招かれた客はよく何か持参すべきものがあるかどうか尋ねます。スナグ(snag)とは通常BBQで焼く生のソーセージで、豚肉、牛肉、鶏肉でできたものもあれば、野菜や穀物でできたものもあります。

**バラック・フォー(Barrack for)：**支援または応援する(普通は特定のスポーツチームを)。



**ブローク(Bloke)**：男性。助けを求めた時に時々「see that bloke over there (あそこにいる男性にきてごらん)」という答えが返ってくる場合があります。

**ブリング・ア・プレート(Bring a plate)**：パーティなどの催しに招待され、ブリング・ア・プレートと言われた場合には、ホストとその他の客と一緒に食べられる食べ物を一皿もってきてくれという意味です。これは学校や職場、クラブなどのカジュアルな集まりの時にはよくあります。何をもっていくべきかわからない時には、招待した人に尋ねましょう。

**ビーワイオー(BYO)**：「BYO」と書いてある招待状を受け取った場合には、自分の飲み物を持参してくださいという意味です。アルコールを飲まない人はジュースやソフトドリンク、ソーダや水などを持参しても構いません。BYOのレストランもあり、自分のワインをレストランに持参できますが、通常ボトルを開け、お酒をつぎ、グラスを出して、洗う料金として、コーケージ(corkage)と呼ばれる料金が課されます。

**カッパ(Cuppa)**：お茶やコーヒーのことで、「Drop by this arvo for a cuppa」とは「今日の午後お茶やコーヒーを飲みに行こう」という意味です。

**ディガー(Digger)**：オーストラリア兵士

**ゴー・フォー・ユア・ライフ(Go for your life)**：どうぞ、どんどんやってください。

**グデー(G'day)**：こんにちは。元気ですか。

**フェアゴー(Fair go)**：公平な扱い。これは、誰かが人生で達成することはその人の家柄やえこひいきによるものではなく、その人の才能や仕事、努力の結果であるべきだという意味です。

**フォートナイト(Fortnight)**：2週間を意味します。

**ノーウォリーズ(No worries)**：問題ありません。しなければならないことや頼んだことが何の面倒も心配もなく、行われます。

**オカー(Ocker)**：粗野で、無作法、うぬぼれたオーストラリア人、またはユーモアのセンスがあり、親切で、臨機応変といった典型的なオーストラリア人気質を示す人

**シャウト(Shout)**：誰かに飲み物をおごってあげること。バーやパブで数人の友人が会った時には、それぞれがシャウト・ア・ラウンド(shout a round)、つまり皆に飲み物を買うことがよくあります。それぞれが交替で皆にぐるり一周飲み物をおごり合うという意味です。

**トゥー・ビー・クルック(To be crook)**：病気であること

*Macquarie Dictionary Book of Slang*をはじめ、オーストラリアの口語や俗語については多数の本が出ています。

## 祝日と休暇

オーストラリア人は毎年、特定の意味や国家として重要な意義のある一定の日を記念します。

オーストラリアのほとんどの労働者には有給休暇の他に、国と州/特別地域の祝日が毎年、約12日あります。

これら祝日の中には、誰にとっても休日、通常はすべての州と特別地域で同じ日にあるものがあります。時には、これら祝日は特別に組織された催しを通して全国的に祝われます。特定の州や特別地域だけにある休日もあります。

**クリスマスとイースター** はキリスト教暦でもっとも重要な日の2つで、オーストラリア全体が休日です。クリスマスデーは毎年12月25日で、イースターは3月下旬か4月上旬です。

### **ボクシングデー**

ボクシングデーは12月26日で、この日も祝日です。ボクシングの試合が開催された日だと言う人もいますが、贈り物を箱に入れてあげた日という説もあります。ボクシングデーはクリスマス休暇の一部と見なされています。

**お正月のニューイヤーズデー**は毎年1月1日で、この日も祝日です。オーストラリアの人がよく有給休暇をとる時期は12月中旬から1月末までです。

### **この他の重要な国の祝日は：**

#### **オーストラリアデー**

1月26日のオーストラリアデーはオーストラリア人が国民として、1788年の最初のヨーロッパ人入植地の誕生を記念する日です。国全体の祝日で、新しい移民の方は特にぜひオーストラリアデーのイベントに参加し、他のオーストラリア人に会ってください。

#### **アンザックデー**

4月25日のアンザックデーは第一次世界大戦中の1915年にオーストラリア・ニュージーランド軍団 (Anzacs: Australian and New Zealand Army Corps) がトルコのガリポリに上陸した日です。この日はオーストラリアのために戦い、戦死した人々を追悼する日となっています。この日は国全体の休日、式典、花輪の贈呈、軍のパレードなどの記念行事が行われます。

#### **クイーンズバースデー**

女王の誕生日は毎年6月の第二月曜日に祝われ、この日は西オーストラリア州を除くすべての州と特別地域で祝日です。西オーストラリア州ではこの祝日は9月または10月にあります。

#### **オーストラリアン・シチズンシップデー**

このオーストラリア市民権デーは2001年9月17日に確立されましたが、この日は1948年国籍・市民権法が、1973年にオーストラリア市民権法へと改称されたことを記念する日です。すべてのオーストラリア人が市民権の重要性について考え、私たちを結びつけている価値を祝う機会です。ただし、この日は休日ではありません。

#### **メルボルンカップデー**

メルボルンカップデーは毎年11月の第一火曜日です。メルボルンカップは世界でも有名な競馬で、職場でも、学校でも、家庭でも大半の人が手を休めて、このレースをテレビで観戦します。メルボルン都市圏では休日、その他の場所でも、主に職場では多くの人が昼食やパーティをしてメルボルンカップを祝います。



## スポーツ、レクリエーション、芸術

多くのオーストラリア人はスポーツ好きで、エリート選手のレベルですばらしい結果を達成した人も多数います。2004年のアテネオリンピック大会ではオーストラリアのメダル獲得数はアメリカ、中国、ロシアに次いで第4位でした。2006年のサッカーワールドカップではオーストラリアは最終16カ国に入りました。

オーストラリア人がスポーツを楽しむのはトップレベルではありません。最近のある全国調査では、15歳以上のオーストラリア人の1100万人以上が少なくとも週に1回は運動、レクリエーション、スポーツとして身体を動かすことに参加しているという結果が出ました。これはほぼ70パーセントの参加率に相当します。

人気のある運動の上位10位は散歩、エアロビクス/フィットネス、水泳、サイクリング、テニス、ゴルフ、ジョギング、ブッシュウォーキング、サッカー、ネットボールです。

この他の人気のあるスポーツにはクリケット、ホッケー、スキーなどがあります。

オーストラリア人はラグビーリーグやラグビーユニオン、オーストラリアンルールズフットボール(Australian Rules Football)というラグビーも行い、これらを観戦することも大好きです。オーストラリアンルールズフットボールはオーストラリア独特のもので、そのルーツは初期のラグビーとゲールフットボールにあります。

オーストラリアは野外活動によく適していますが、安全上覚えておくべきルールがいくつかあります。

- ビーチではライフセイバーがパトロールを行っている区域だけで泳ぎましょう。常に旗の間の遊泳区域で泳ぐようにし、ライフセイバーのパトロールが行われないビーチもありますので注意しましょう。
- 特にひとけのない場所で一人で水泳や釣りをすることは避けましょう。
- 天気のよい日には日焼けと皮膚癌防止のために、帽子、サングラス、肌を保護する服(シャツなど)を着用し、日陰に入って、肌を守る日焼け止めクリームを使用しましょう。
- トータルファイヤーバン(野外火気使用厳禁日)になっている日には野外で焚き火をしたり、バーベキューをすることは禁止されていますので注意しましょう。

## 活気あふれる芸術界

オーストラリアには、この国の先住民文化の伝統と移民文化の豊かなモザイクを反映した活気にあふれた芸術界があります。

映画、美術、演劇、音楽などあらゆる形式の美術と芸術があり、どれも非常に人気があります。ある調査ではほぼ1300万人、大人のオーストラリア人の88パーセントが毎年、何らかの文化的イベントや上演に行くという結果が出ています。

オーストラリアは文学の伝統も強く、これは先住オーストラリア人の物語から始まり、18世紀後半にオーストラリアに到着した囚人たちの説話で継続されました。

ノーベル文学賞を受賞したオーストラリア人もいます。この賞は1973年にパトリック・ホワイトが受賞しました。この他、オーストラリアの20世紀の人気作家にはピーター・カリー、ブライス・コーテニー、コリーン・マカラ、モリス・ウェスト、ティム・ウィントンなどがいます。

## オンライン情報

- 通信・情報技術・芸術省 [www.dcita.gov.au](http://www.dcita.gov.au)
- オーストラリア芸術協議会(Australia Council) [www.ozco.gov.au](http://www.ozco.gov.au)
- オーストラリアスポーツ委員会 [www.ausport.gov.au](http://www.ausport.gov.au)

## 科学における功績者と革新者

オーストラリア人は科学における功績と革新においても優れた記録を有しており、特に医学、技術、農業、鉱業、製造業の分野において多大な功績を残してきました。

オーストラリアの最初の革新者は先住オーストラリア人で、彼らは世界でもっとも古い部類の石器、ブーメラン(特別に形作られたスティックで、正しく投げると、投げた者のところに戻ってくる)、ウーメラ(やり入れ)などを創り出しました。

より最近の革新には、セキュリティ上利点があり、他の紙幣より4倍長持ちするポリマー紙幣の開発、世界の農作物の生産を増大させる可能性のある植物遺伝子の発見などがあります。オーストラリアは医学上の功績や、不発の爆弾や地雷の探知技術開発でも指導的立場にあります。

最近の医学における功績には、世界初のインフルエンザ治療薬レレンザの開発、皮膚にできるがん性の斑点を迅速に探知できるスキャン、子宮頸がん用ワクチンなどがあります。

科学や医学における功績で、これまでに9人のオーストラリア人がノーベル賞を受賞しています。もっとも最近の受賞者はバリー・マーシャル教授とロビン・ウォーレン博士で、彼らは胃潰瘍と胃炎の原因となる細菌の発見により2005年にノーベル賞を受賞しました。1996年にはピーター・ドエティ教授が免疫学に関する功績によりノーベル賞を受賞しました。

毎年、オーストラリアデーにはオーストラリアン・オブ・ザ・イヤーと呼ばれる賞の受賞者が発表されます。2005年、2006年、2007年の受賞者は科学者で、2005年は火傷被害者のための画期的なスプレー式皮膚治療法を開発したフィオナ・ウッド博士が受賞し、2006年は子宮頸がん用ワクチンを開発したイアン・フレーザー教授が受賞しました。2007年の受賞者は一流環境科学者、ティム・フラネリー教授でした。

ウッド博士とフレーザー教授はイギリスからの移民でした。フレーザー教授の共同発明者、故ジャン・ゾウ博士も中国からの移民で、亡くなる前にオーストラリア市民権を取得していました。

## オンライン情報

- 教育・科学・訓練省 [www.dest.gov.au](http://www.dest.gov.au)
- オーストラリア革新支援局(Backing Australia's Ability) [www.innovation.gov.au](http://www.innovation.gov.au)
- 連邦科学・産業研究組織(CSIRO) [www.csiro.au](http://www.csiro.au)

# オーストラリアの生活

## 雇用と労働条件

オーストラリアの労働市場は非常に競争的な場合もあります。新しく到着した人がどれだけ早くオーストラリアで仕事を見つけることができるかは、経済的要因やその人の資格と技能、求めている仕事の種類に左右され、また特定の状況が一定の種類の仕事の国内各地の募集状況に影響を及ぼす場合もあります。

オーストラリアへ出発する前に移民の方は仕事の見込みや、自分の望む仕事に特別な条件や要件がないかどうかについて調べるべきでしょう。オーストラリアの多くの仕事では、応募者はオーストラリアの州や特別地域で登録や認可を受けることができなければならず、且つ/または職業団体や業界団体の会員資格がなければなりません。

オーストラリアの労働者の給料と労働条件は次のものによって設定されます：

- 裁定 (award)
- 法定契約 (オーストラリア職場協約： Australian Workplace Agreementまたは集団労働協約： Collective Agreement)
- コモンロー(判例法)上の契約

オーストラリアでは男女はあらゆる仕事と職業に就くことができます。性別、人種、障害、信仰宗教や性的指向による不当な扱いや差別から労働者を守る法律があります。平等雇用機会法は職場に対して、キャリア機会、昇進、訓練が、個人の好みに基づいた扱いや差別ではなく、労働者の功績、技能、経験に基づいたものであるようにすることを義務づけています。

オーストラリアの法の下では、被雇用者は組合に入ることを(または入らないことも)選ぶことができます。

永住権保持者で、オーストラリア以外で訓練を受けた専門職者の方は国外技能認定局 (NOOSR) がお手伝いすることができます。

具体的な職業や技能の認定に関する情報は次のウェブサイトです：

- オーストラリアでの雇用の見込み、不足している技能、キャリアについては [www.jobsearch.gov.au](http://www.jobsearch.gov.au)
- オーストラリアの職場については [www.workplace.gov.au](http://www.workplace.gov.au)
- 技能移民については [www.skilledmigrant.gov.au/](http://www.skilledmigrant.gov.au/)
- 職人資格の認定については [www.workplace.gov.au/tra](http://www.workplace.gov.au/tra)
- AEI-NOOSR [www.aei.dest.gov.au](http://www.aei.dest.gov.au).

## 税務

すべてのオーストラリア人は毎年の自分の収入が一定額を超えると、それに対して税金を払う義務があります。課税所得には仕事の給料、事業収入、銀行預金やその他の投資からの金利収入などが含まれません。

ほとんどの物品とサービスには、皆さんが払う価格に少額の消費税が含まれており、これはGST (Goods and Services Tax)と呼ばれます。

オーストラリア政府が徴集した税金は社会保障や保健医療サービス、防衛、主要道路などのインフラの提供に使われます。

州や特別地域も一定の取引やサービスに関する税金(stamp dutiesと呼ばれる印紙税)を徴収します。これは警察、病院、州や地元の道路といった州や特別地域のサービスやインフラのために使われます。

オーストラリアの税務年度は7月1日から6月30日までです。オーストラリアの法の下では、たいへいの人が毎年税務申告をすることが義務づけられており、申告書には全収入源からの全収入と支払った税額の詳細を記載しなければなりません。大半の場合には税金は雇用者が毎回の給与の支払い額から差し引いて、オーストラリア国税局(ATO: Australian Taxation Office)に支払っています。

## 退職年金

スーパーアニュエーションと呼ばれる退職年金は、労働者が退職後の生活資金を確保できるようにするための貯蓄プログラムです。オーストラリアではほとんどの被雇用者が退職年金基金に入らなければならない、被雇用者の退職年金基金に積立金を拠出することが法律で雇用者に義務づけられています。これは雇用者退職年金保証(Employer Superannuation Guarantee)制度の積立金として知られています。

退職年金と税務についてのより詳しい情報はオーストラリア国税局から入手できます。

電話： 132 861

オンライン： [www.ato.gov.au](http://www.ato.gov.au)

## 住宅

引越しに伴う費用はどこでも常に高いものですが、オーストラリアへの旅費、引越し費用、新居の設定にも多額の費用がかかります。

家やマンション(オーストラリアではユニットまたはフラットと呼ばれることが多い)の値段は比較的高く、特にシドニー、パース、メルボルン、キャンベラでは高額です。

家やマンションの賃貸や購入は通常、認可を受けた不動産エージェントを通じて行われます。不動産の販売や賃貸は個人的に行うこともできますが、事前に弁護士と相談するのが賢明です。

購入、賃貸用の不動産は通常、日刊紙の土曜版に広告が出され、またいろいろなインターネットのサイトや不動産エージェントでも宣伝されます。

不動産を借りる場合には、一月分の家賃に相当する保証金と、最初の月の家賃を前払いするのが通常の慣習となっています。保証金は借家人が出た時点で戻ってきますが、必要な場合には修理代や清掃代が差し引かれます。



## 社会保障

センタリンク(Centrelink)はオーストラリア社会に広範なサービスや支払いを提供するオーストラリア政府の官庁です。これには低所得者や退職者、障害者、失業者、片親家庭や介護者をはじめとする多くの人への援助が含まれます。受給資格のある支払いや受けられるサービスは個人の状況に左右されます。

オーストラリア政府は最良の援助方法は有給の仕事を通じたものであるという信念を有しています。センタリンクは特定の状況で働くことが困難な人には経済的援助を提供する一方で、雇用を見つける援助を提供する支援サービスに人々を結びつけます。センタリンクから支払いを受けている人は、可能な場合には求職活動が義務づけられたり、また将来仕事を得られるように技能の向上が求められる場合もあります。

難民ビザや人道的ビザでオーストラリアに来た方は、通常センタリンクのサービスやプログラムを全面的に受けることができます。原則的に、他の移民は永住ビザで2年間オーストラリアに居住しなければ、ほとんどのセンタリンクの援助は受けられません。この期間は自分と扶養家族を養えるだけの資金を確保しておく必要があります。受給資格が生じるまでのこの待ち時間は、必要な援助と個人の状況で変わる場合もあります。

求職活動の支援や、育児費用援助としての家庭援助金など、一部の新しい移民の場合には限られた援助を利用できる場合もあります。家庭向けの援助についてのより詳しい情報はオーストラリア政府のファミリーアシスタンスオフィス(Family Assistance Office)から得られます。

新しく到着した移民の方は、移住後なるべく早くセンタリンクやファミリーアシスタンスオフィスに連絡をとり、例えば求職活動の支援など、得られる可能性のある援助について確認すべきでしょう。

### 連絡先：

センタリンク	13 2850
オンライン：	<a href="http://www.centrelink.gov.au">www.centrelink.gov.au</a>
ファミリーアシスタンスオフィス	13 6150
オンライン：	<a href="http://www.familyassist.gov.au">www.familyassist.gov.au</a>
英語以外の言語	13 1202

## 病院費用や医療費

オーストラリア政府はメディケアオーストラリア(Medicare Australia)と呼ばれるプログラムを通じて基本的な病院費用や医療費の援助を提供しています。ほとんどの薬についても、メディケアカード保持者については医薬品給付金制度(PBS： Pharmaceutical Benefits Scheme)の下で政府がその費用を一部負担しています。新しく到着した移民の方は、パスポート、出入国関連書類、ビザの情報をもってメディケアオフィスへ行き、メディケアプログラムに入る資格があるかどうかを確認すべきでしょう。メディケアのウェブサイト(下記参照)にはさまざまな言語に翻訳された情報キットがあります。

ほとんどの一時滞在ビザ保持者はメディケアには入れません。ただし、例えば永住ビザ申請中の一時滞在ビザ保持者で必要なルールを満たしている人などの例外がいくつかあります。

#### 連絡先：

電話： 13 2011

オンライン： [www.medicareaustralia.gov.au/](http://www.medicareaustralia.gov.au/)

この他、私立病院での治療や歯の治療、メガネやコンタクトレンズ、救急車など、メディケアではカバーされない医療サービスの費用を対象とした民間医療保険もあります。

#### 民間医療保険についての詳細は

メール： [privatehealth@health.gov.au](mailto:privatehealth@health.gov.au)

オンライン： [www.health.gov.au/internet/wcms/publishing.nsf/Content/private-1](http://www.health.gov.au/internet/wcms/publishing.nsf/Content/private-1)

## 英語クラス

英語の習得は、新しい移民が新しい社会での生活に慣れ、自分の個人的、社会的、経済的な目標の達成に向けて最初に踏み出す、もっとも重要なステップの一つだとオーストラリア政府は考えています。英語がファンクショナルと呼ばれるレベルに満たない場合には、成人移民用英語プログラム (AMEP： Adult Migrant English Programme) に基づいて無料の英語レッスンを受けられる場合があります。

オーストラリアに到着した時点で、移民・市民権省の問い合わせ番号に連絡し、この英語クラスを受けられるかどうかや、最寄りのAMEPサービス提供者についての情報を確認しましょう。受ける資格がある人は、国内にいる場合には永住権取得日から3ヵ月以内に、海外にいる場合にはオーストラリア到着日から3ヵ月以内に英語クラスのための登録をしなければなりませんのでご注意ください。

#### 連絡先：

電話： 131 881

オンライン： [www.immi.gov.au/amep](http://www.immi.gov.au/amep)

## その他のオーストラリア政府英語指導プログラム

この他にもオーストラリア政府が行う英語指導プログラムが3つあり、これらはすべて教育・科学・訓練省 (Department of Education, Science and Training) が実施しています。これらは職場英語・識字力プログラム (WELL： Workplace English Language and Literacy programme)、求職者向けの英語・識字力・計算力 (LLNP： Language, Literacy and Numeracy Programme)、児童生徒向けのプログラム第二言語としての英語-新移民 (ESL-NA： English as a second language – New Arrivals) です。より詳しい情報については [www.dest.gov.au](http://www.dest.gov.au) をご覧ください。



## 通訳・翻訳サービス

通訳サービスは131 450の全国通訳・通訳サービス(TISナショナル： Translating and Interpreting Service National) から受けられます(国内どこからでも市内通話料金)。TISナショナルは毎日24時間、年中無休で通訳サービスを提供しています。

一定の条件を満たすオーストラリアの居住者や国民向けに、移住関連の個人書類を英語に訳す無料の抜粋翻訳サービスもあります。

### オンライン情報

- [www.immi.gov.au/living-in-australia/help-with-english/learn-english/client/translation\\_help.htm](http://www.immi.gov.au/living-in-australia/help-with-english/learn-english/client/translation_help.htm)

## 教育

オーストラリアの法の下では、子供は通常は5歳から15歳まで学校に行かなければなりません。ただし、この年齢は一部の州や特別地域では少し異なる場合があります。政府は公立学校で無料の教育を提供しています(一時滞在ビザをもつ生徒は全授業料を支払わなければならない場合もあります)。教会その他の団体が運営する私立校に行く生徒も多いですが、これらの学校では授業料を支払わなければなりません。

オーストラリアの教育制度はすべての人に開かれており、あらゆる年齢と能力レベルの生徒に機会を提供します。

公立学校は州/特別地域政府が管理しており、入学についての情報は州/特別地域教育省か地元の学校から得られます。

高等教育プログラムには2種類あり、職業教育・訓練(VET)セクターの教育機関や産業が提供するものと、大学その他の高等教育機関が提供するものがあります。このような高等教育コースへのアクセスは申請者のビザの条件に左右されます。

場合によっては、オーストラリア政府が高等教育の費用の大半を支払い(国の援助を受けるので Commonwealth-supported places と呼ばれる)、残りの費用を学生が払うこともあります。高等教育の学生は、国の援助を受ける学生として入学した場合に利用することのできる高等教育拠出金制度 (HECS： Higher Education Contributory Scheme) や高等教育ローンプログラム (HELP： Higher Education Loan Programme)の申請もできます。HECS - HELPローンは学生が負担する金額のすべてあるいは一部をカバーします。

### より詳しい情報は下記ウェブサイトへ：

- 教育・科学・訓練省 [www.dest.gov.au](http://www.dest.gov.au)
- ゴーイング・トゥー・ユニバーシティ [www.goingtouni.gov.au](http://www.goingtouni.gov.au)

## 運転免許証

運転免許証は州と特別地域の政府によって発行され、通常、申請者は運転知識についての試験と運転実地試験、視力検査に合格しなければなりません。有効な運転免許証がないと運転することはできません。

永住ビザ保持者は入国後3ヵ月以内であれば、他国の有効な英語の(または正式な翻訳付きの)運転免許証があることを条件に運転が許されています。この期間後は、適切なオーストラリアの運転免許証をもつ必要があります。

## 重要な連絡先

- 生死にかかわる緊急事態(火事、警察、救急車) – 電話：000
- 全国翻訳・通訳サービス(TISナショナル) – 電話：131 450
- 移民・市民権省(DIAC) – 電話：131 881
- オーストラリア政府ウェブサイトポータル – [www.australia.gov.au](http://www.australia.gov.au)
- 「Living in Australia」ウェブページ – [www.immi.gov.au/living-in-australia/index.htm](http://www.immi.gov.au/living-in-australia/index.htm)
- 「Beginning a Life in Australia」小冊子 – [www.immi.gov.au/living-in-australia/settle-in-australia/beginning-life/index.htm](http://www.immi.gov.au/living-in-australia/settle-in-australia/beginning-life/index.htm)

# オーストラリア市民権の取得



オーストラリア政府は条件を満たした永住権保持者がオーストラリア市民権を申請することを強く推奨しています。

オーストラリア市民権の取得を選ぶことは、オーストラリアとその国民に対する皆さん個人の忠誠心と約束を示すものです。これは、ある意味では移住の旅の最後のステップであり、オーストラリアを故郷とすることを意味します。

オーストラリアに永住する人々はすべて同じ機会を共有しますが、オーストラリア国民になることは、オーストラリア社会の完全で正式な一員となることを意味します。投票したり、議会に立候補したりすることによって、この国の民主主義のプロセスに全面的に参加したり、政府職に就くことができるようになり、人々はオーストラリアにより効果的な貢献ができるようになります。

オーストラリア市民権は私たちの国の中心にある結束力です。

オーストラリア市民権には権利と恩恵や責任を伴います。

## 市民権の権利と恩恵

すべてのオーストラリア国民は次の権利と恩恵を享受します：

- オーストラリアの政府を選挙で選ぶために投票する
- 議会の議員になるために選挙に立候補する
- オーストラリアのパスポートを申請し、オーストラリアに自由に入国する
- 海外で生まれた子供をオーストラリア人の子供であることを理由にオーストラリア国民として登録する
- 海外にいる間にオーストラリア大使館/領事館から全面的援助を求める
- オーストラリア防衛軍で、またオーストラリア公務員として広範な雇用機会を求める

## 責任

オーストラリア市民権には次の責任を伴います：

- 連邦、州と特別地域の選挙とレファレンダム\*で投票する
- 要請があった場合には陪審員を務める
- 必要が生じた場合にはオーストラリアを防衛する(オーストラリアで生まれた国民と同じ権利と例外規定を受ける)

\* レファレンダムとは憲法の変更を目的とする法案を承認するかどうかを有権者の判断にまかせる国民投票を指します。

ほとんどの永住者の場合には、オーストラリア市民権取得のための最初のステップは市民権取得試験に合格することです。この試験の準備のために申請者は市民権に関する資料「オーストラリア市民権取得 (Becoming an Australian)」を読むべきでしょう。同資料は下記ウェブサイトです。試験に合格し、市民権の取得申請が承認されると、公の市民権セレモニーで次の約束の宣誓を行う必要があります：

*'From this time forward, under God,\*  
I pledge my loyalty to Australia and its people  
Whose democratic beliefs I share,  
Whose rights and liberties I respect, and  
Whose laws I will uphold and obey'.*

\*People may choose whether or not to use the words 'under God'.

「今から将来にわたり、神の下に\*  
私はオーストラリアとその国民への忠誠を誓います。  
オーストラリア国民の民主主義の信念を共有し  
オーストラリア国民の権利と自由を尊重し  
オーストラリアの法を守り、これに従います。」

\*「神の下に」という言葉を使うかどうかは個人で選択できます。

あらゆる文化や宗教をもつオーストラリア人は、一つの社会として結束する一方で、法の範囲内で自分の伝統や信念を維持することができます。

オーストラリア市民権を取得してオーストラリア国民になるということは、オーストラリアへの忠誠を誓い、その他のオーストラリア人全員と協力して強く、結束力のある、調和した国を築くことであると同時に、自分の文化でオーストラリアを豊かにすることでもあります。

オーストラリア市民権の取得方法についてのより詳しい情報はオーストラリア市民権ウェブサイトや市民権インフォメーションラインから得られます。

#### より詳しい情報をオンラインでお求めの方は：

- [www.citizenship.gov.au](http://www.citizenship.gov.au) をご覧になるか、131 880にお電話ください。